

## 令和4年度 国語「国語表現」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 1～7組
教科書	国語表現改訂版（大修館書店）	副教材等	国語表現ノート（大修館書店）

### 1 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語を適切かつ効果的に表現する能力を育成する。</li> <li>・伝え合う力を高める。</li> <li>・思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現しようとする態度を育てる。</li> </ul>
--

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	・文章表現の基本である用語を適切に用いよう。  ・課題文を読み取り、要旨をまとめよう。	漢字・語句について	・漢字を正しく書けるようにする。 ・語句の意味を理解し、文脈に応じて適切に使いこなせるようにする。  [教材の合間で年間10回程度実施]	・課題プリント ・小テスト
		評論文や随筆の主張を掴む	・作者の主張を正しく理解し、短くまとめられるようにする。  [教材の合間で学期に3回程度実施]	
5	・わかりやすい表現を身につけよう。	「整った文を書く」等	・主述の関係・修飾関係・副詞の呼応・一文の長さ・慣用表現等に配慮したわかりやすい文章表現を身につける。	・テキスト点検 ・ワークシート点検
6	・目的に応じた文章を工夫し、表現しよう。 ・論理的に文章を組み立てよう	「原稿用紙の使い方」、「小論文の書き方」等	・原稿用紙の使い方を理解する。 ・ポイントを押さえた伝わりやすい文章を書く。 ・論点を整理し、構成の整った文章を書く。 ・自分の立場を明確にして、下書きを書く。 ・指摘事項を基に推敲し清書する。	・ワークシート分析 ・作文分析 ・行動観察 ・ワークシート点検
7	・自分の主張を相手に効果的に伝えよう。	「効果的なPR」を発表する	・聞きやすく、わかりやすい文章となるよう工夫をする。 ・プレゼンテーションの形式と手順を理解する。 ・論点を整理し、発表する。 ・発表を的確に聞き取り、適切に評価して批評し合う。	・ワークシート分析 ・行動観察 ・ワークシート点検
		「敬語」の誤用の訂正等	・正しい敬語の使い方を理解し、場に応じた適切な言葉遣いを身につける。	
		「志望動機」作成の準備	・効果的な志望動機を書くための材料を、例から読み取る。	
		期末考査	・漢字、語句、「わかりやすい表現」「敬語表現」等	
9	・自分の思いや考えが伝わる文章を書こう  ・自分の主張を相手に効果的に伝えよう。	「志望動機」記述	・調べたことやまとめたことをもとに、下書きを書く。 ・指摘事項を基に推敲し清書する。	・ワークシート分析 ・ワークシート点検 ・作文分析
			・ディベートの形式と手順を理解する。 ・自分の主張、反対意見などを考え、構成メモを書く。 ・グループで読み合い、批評する。	

10		「ディベート」を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>論点を整理し、討論する。</li> <li>発表について批評し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート分析</li> <li>ワークシート点検</li> </ul>
11	・目的や場に応じた文章を書こう。	「手紙文」記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>手紙の基本的な形式を確認し、理解する。</li> <li>恩師への手紙（進路報告）を書く。</li> <li>同窓会の案内などを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキスト点検</li> <li>ワークシート分析</li> </ul>
12	・自分の体験や感動が効果的に伝わる文章を書こう。	「自分史」作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分史」の構成や書く目的を理解する。</li> <li>「自分の生まれた日」の社会の動静について、その日の新聞（縮刷版）を調べてまとめる。</li> <li>「自分史年表」を書く。</li> <li>構成を考え、下書きを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート分析</li> <li>行動観察</li> <li>作文（下書き）分析</li> </ul>
		期末考査	漢字、語句、作文と小論文について、手紙文について等	
1	・自分の体験や感動が効果的に伝わる文章を書こう。	「自分史」作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>下書きで指摘された事項や誤字脱字・文のねじれ等、表現が不適切な箇所を推敲する。</li> <li>ペン書きで清書する。</li> <li>表紙や目次、参考資料を揃え、冊子として完成させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>作文（清書）分析</li> <li>作品の分析</li> </ul>

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
話すこと 聞くこと	目的や場に応じて効果的に話的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
読むこと	
書くこと	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身につけている。

### 4 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「知識・理解」の4観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>「国語表現」は、授業への参加が大変重視される科目です。休まず出席することはもちろん、毎時間の授業ごとに提出してもらったテキストやワークシートをきちんと仕上げること、さらには授業以外で出される課題等を期限を守って必ず提出することなどを心がけてください。また、定期考査は1学期と2学期の期末考査の2回です。範囲は、その学期行ったすべての内容となりますので、1時間1時間の授業を大切にしてください。</p> <p>最後に、表現の力をつけるためには、日頃の過ごし方も大切です。社会の動静に関心を持ち、新聞を読んだり友人と話題にして話し合ったりしてみてください。また書物にも積極的に親しんで欲しいと思います。</p>
--



## 令和4年度 国語「古典B」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 1 2 4 5 6 7組
教科書	古典B（教育出版）	副教材等	最新国語便覧（浜島書店） 完全マスター古典文法（第一学習社）

### 1 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典としての古文と漢文を読む能力を養う。</li> <li>・ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深める。</li> </ul>
---

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	国語の常識を身につけよう	小プリント	・文学史や難読語言葉の意味等の国語の常識小プリントを行う。	・行動観察 ・小プリノート点検
5	知恵の働き ——説話	『児の知恵』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な説話作品について、文学的な基礎知識を整理し、説話というジャンルの特性について考える。</li> <li>・話の展開や登場人物の心情の変化に気をつけながら説話を読み、その面白さを味わう。</li> <li>・現代語訳して、機知の面白さを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の分析</li> <li>・行動観察</li> <li>・行動観察</li> <li>・記述の分析</li> </ul>
	宮中の生活 ——随筆	『枕草子』より 「中納言参りたまひて」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品・作者について理解する。</li> <li>・古語の意味、文語文法（助動詞）、敬語表現を理解し、現代語訳する。</li> <li>・作者の機知を理解し、それを発揮できる環境について考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の分析</li> <li>・ワークシート分析</li> <li>・記述の分析</li> <li>・行動観察</li> </ul>
6		中間考査		
7	愛の始まり ——物語	『源氏物語』より 「光源氏の誕生」 「若紫との出会い」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品・作者について、特に本作品が後世に与えた影響を理解する。</li> <li>・古文を正しく音読し、冒頭文の暗唱をする。</li> <li>・古語の意味、文語文法（助動詞）、敬語表現を理解し現代語訳する。</li> <li>・登場人物の関係を理解し、その心情の考察し、話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・記述の分析</li> <li>・暗唱テスト</li> <li>・ワークシート分析</li> <li>・小テスト</li> <li>・行動観察</li> </ul>
		期末考査		
9	女性の視点 ——日記	『蜻蛉日記』より 「嘆きつつ」 「鷹を放つ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中古女流日記の特徴を理解する。</li> <li>・平安時代の生活様式・結婚等について理解する。</li> <li>・古語の意味、和歌の用法等を理解し現代語訳する。</li> <li>・当時の結婚や男女の仲について、現代と比較しながら話し合う。</li> <li>・登場人物の心情について話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の分析</li> <li>・記述の分析</li> <li>・行動観察</li> <li>・ワークシート分析</li> <li>・記述の分析</li> </ul>
	10	英雄の物語 ——『史記』	『史記』の特徴と作者について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の特徴とそれが日本に及ぼした影響について理解する。</li> </ul>
		中間考査		

11		『史記』より 「鴻門の会」 「四面楚歌」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓読のきまりに注意し、書き下し文にし、音読する。</li> <li>・語句の意味や句法を理解し現代語訳する。</li> <li>・登場人物の行動やその裏にある心情について考察し、人物像について話し合う。</li> <li>・故事成語の成り立ちを理解しまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・記述の分析</li> <li>・行動観察</li> <li>・記述の分析</li> </ul>
12	歴史と人間 ——歴史物語	『大鏡』の特徴について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『大鏡』の特徴を『史記』と関連付けて理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の分析</li> </ul>
		期末考査		
1		『大鏡』より 「師輔の夢」 「中宮安子の嫉妬」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古語の意味、文語文法（助動詞）敬語表現等を理解し現代語訳する。</li> <li>・各章段を、登場人物の行動に注意して正確に読解し、その背景にある心情を踏まえながら人物像について考える。</li> <li>・日本史学習と関連させながら、人物像を立体化させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の分析</li> <li>・記述の分析</li> </ul>
		期末考査		

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。
話すこと 聞くこと	
読むこと	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。
書くこと	
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。

### 4 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「読むこと」、「知識・理解」の3点から評価規準に従い、総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>まずは、日々の授業を大切に、積極的に参加して欲しいと思います。二年次の選択によっては、一年次に「国語総合」で古典に触れて以来、1年ぶりの「古典」ということで、不安を感じている人もいるかもしれません。しかし、授業で解説することや課題をていねいにこなしてもらえば、何の心配もありません。</p> <p>また、授業をきっかけに古典作品への興味関心を高め、積極的に書物に親しんでください。</p>
---

## 令和4年度 国語「現代文研究」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科 3年 1～8組
教科書	新編現代文B（東京書籍）	副教材等	最新国語便覧・漢字ボックス（浜島書店）

### 1 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	・評論 「最初のペンギン」	内容を的確に読み取り、批判的に考える力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み方や書き方、語句の意味を確認する。</li> <li>・タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の行き方について考える。</li> <li>・未知の世界に飛び込んでいく勇気の価値を考える。</li> </ul>	行動観察 記述の確認 ワークシート 小テスト
5	・小説 「山月記」	登場人物の心情を読み取る。 作品主題への考えを深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み方や書き方、語句の意味を確認する。</li> <li>・作者と現代社会との共通点、相違点について考える。</li> <li>・李徴が虎になった経緯を読み取る。</li> <li>・李徴の心情を人間一般に関わる問題として考える。</li> <li>・作品の主題について考え、李徴の生き方について意見交換する。</li> </ul>	行動観察 記述の確認 ワークシート 小テスト
		中間考査		
6	・評論 「もうひとつの知性」	比較の手法を学ぶ。 筆者の主張を的確に捉える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題名の意味合いを知る。</li> <li>・本文を正確に音読できるようにする。</li> <li>・科学的思考とは異なる思考のあり方を理解する。</li> </ul>	行動観察 記述の確認 ワークシート 小テスト
	・小説 「カンガルー日和」	表現形式の特徴を理解する。 登場人物の性格や心理を捉える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代日本を代表する作者について調べる。</li> <li>・時間的経緯や情景の変化を理解する。</li> <li>・登場人物の言動の要因を読み取る。</li> <li>・情景描写と登場人物の心理の関係を考える。</li> </ul>	行動観察 記述の確認 ワークシート 小テスト
7		期末考査		
9	・詩歌 「竹」「永訣の朝」	鑑賞力を高め、情景や心情を読み取り豊かな感性を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比喩表現を味わい、作者の心情について考える。</li> <li>・作品のもととなった体験を知り、その体験を作者はどのように語化しているか考えながら味わう。</li> <li>・具体例と抽象的説明に着目する。</li> </ul>	行動観察 記述の確認 ワークシート 小テスト
	・評論 「ホンモノのおカネの作り方」	具体例と抽象的説明に着目する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの例の対比に注意して論旨をたどる。</li> <li>・貨幣のもつ不思議さについて考える。</li> </ul>	行動観察 記述の確認 ワークシート 小テスト
		中間考査		
11	・小説 「鞆」	世界観を的確に捉える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・背景となる社会状況を知る。</li> <li>・寓意に注意しながら小説を読み、「現代」について考える。</li> <li>・小説の背景を理解出来ているか見直しをする。</li> <li>・主人公のその後の人生と心情を理解する。</li> </ul>	行動観察 記述の確認 ワークシート 小テスト
12	・評論 「未来のありか」	課題を読み取り考えを深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来という概念を定義する。</li> <li>・小見出しを参考にして各部分の内容と関係を読み取り、未来とはなにかを考える。</li> </ul>	行動観察 記述の確認 ワークシート 小テスト
		期末考査		
1	・小説 「葉桜と魔笛」	近代小説を読み味わう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者や時代背景を調べる。</li> <li>・物語の展開を把握しつつ、そこに浮かび上がる人間の心の奥深さを味わう。</li> </ul>	
		学年末考査		

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。授業に必要なもの（教科書・ノート・図説・漢字ボックス）は必ず持参し、授業に取り組む。
話すこと 聞くこと	発言と傾聴を率先して行う。文学的な文章を読んで、人物の生き方や表現の仕方等について自分の考えを話せる。
読むこと	黙読・音読をしっかりと行う。精読を心掛け、書き手の意図や人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わっている。
書くこと	文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲の技術を身につけている。自分の意見や感想を文章にする。
知識・理解	語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにしている。

### 4 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」、「知識・理解」の5観点から評価規準に従い、総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

現代文は全ての教科の基本となる科目です。課題や作品に積極的かつ主体的に取り組んで感性を磨いてください。
---

## 令和4年度 国語「国語研究」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科3年1～8組（選択者）
教科書	古典B（教育出版）	副教材等	イラストとシーンでおぼえるLOOK@古文 単語337（京都書房） 完全マスター古典文法（第一学習社）

### 1 学習の到達目標

2年次までの授業で培ってきた基礎力に基づいて、さらに内容や知識等を深め、作品や言葉の総合的な理解と表現力の向上を図る。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5	・歴史物語を読み文章の構成や展開を読み取る	・『大鏡』 三船の才	・古文の基礎事項（語句の意味・文法・常識）を確認しながら、内容を捉え、話の構成や展開を読み取る。 ・敬語の用法を理解しながら、物語を組み立てる人間関係の一端を整理し、登場人物の心情を的確に読み取る。	行動の観察
6	・漢文の逸話を読み漢文訓読の基礎や句形を確認する	・『西京雜記』 王昭君	・漢文訓読の基礎や句形を確認しながら、話の展開を読み取る。	ワークシート・記述の点検 定期考査
7		期末考査		
9 10	・古文の随筆を読み作者の感性や機知を読み取る	・『枕草子』 二月つごもり頃に	・作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、自らの感性を磨く。 ・宮廷生活の機知に触れるとともに、当時の貴族の生活や教養についての認識を深める。 ・敬語の用法を確認し、話の構成や展開、登場人物の心情を的確に読み取る。	行動の観察
11	・物語を読み登場人物の心情を読み取る	・『源氏物語』 葵の上に取り憑く 物の怪	・古文の基礎事項（語句の意味・文法・常識）を理解した上で、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・敬語の用法を確認しながら、長編物語を組み立てる人間関係の一端を整理し、読み進める。	ワークシート・記述の点検 定期考査
12		期末考査		



1	・評論を読み作者の考えを読み取る	・『難波土産』 虚実皮膜の論	・古文の基礎事項（語句の意味・文法・常識）を確認しながら、作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取る。	記述の点検
---	------------------	-------------------	---	-------

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や感心を深めようとしている。
話す・聞く能力	
読む能力	古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。
書く能力	
知識・理解	伝統的な言語文化及び古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解している。

### 4 評価の方法

「関心・意欲・態度」、「読むこと」、「知識・理解」の観点から評価規準に従い、定期考査・授業内テスト等の結果、提出物の在り方、授業中の姿勢等を鑑み、総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

「国語総合」では文字通り、現代文と古典を総合的に学んできました。「国語研究」では古典に特化して、問題演習も行いながら広く、さまざまな作品を読んでいきます。まずは読解に必要な基礎事項（語句の意味・文法・古典常識など）を定着させ、自分で古典を読み味わう力をつけていきましょう。

その上で、古典をただの読み物として捉えるのではなく、現代と結び付けながら何かを学びとっていく姿勢で臨むと古典がより面白く感じるようになると思います。

## 令和4年度 地理歴史「世界史B」シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科3年次 1・5・8組選択
教科書	改訂版 詳説 世界史B (山川出版社)	副教材等	最新世界史図説タペストリー (帝国書院)

### 1 学習の到達目標

①	世界の歴史に関心を持ち、主体的に歴史の学習に取り組む態度を養う。
②	世界の歴史の基本事項の理解を徹底する。
③	世界の歴史を学ぶ事により、日本の歴史や文化を客観的に見る目を養う。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4  5	第1章 西アジア世界と地中海世界	① オリент文明 ② オリントの統一 ③ ギリシアのポリス社会 ④ ローマ帝国	・エジプト文明、メソポタミア文明について学ぶ ・民主政の確立・現代民主政治との違い、ギリシアの文化の特徴を学ぶ	・授業中の態度 ・出欠状況 ・ノートやプリントなどの提出状況 ・中間考査の成績
	第2章 南アジア世界と東南アジア世界	①インド文明 ②東南アジア世界と海の道	・インド文明の成立、仏教の成立・発展、ヒンドゥー教社会の形成を学ぶ。 ・東南アジアの諸文明を宗教を中心に理解させる。	
6	第3章 東アジア世界	① 中国文明の形成 ② 中国古代帝国の成立  中間考査 p22~77	・黄河文明、殷・周時代の社会と文化について学ぶ。 ・秦・漢帝国時代の皇帝を中心とした政治体制について学ぶ	・授業中の態度 ・出欠状況 ・ノートやプリントなどの提出状況 ・期末考査の成績
7	第4章 中央ユーラシア世界と東アジア世界の展開	① 中央ユーラシア世界の国家形成 ② 胡漢融合帝国の誕生	・魏晉南北朝の社会と文化、遊牧民族の活動について学ぶ。	
	第5章 アフリカ世界と南北アメリカ世界	① サハラ以南のアフリカの古王国 ② 南北アメリカの先住民	・アメリカ大陸で独自の文化・文明が生み出されたことを学ぶ。	
	第6章 イスラームの広がりや西アジア世界の展開	① イスラーム帝国の成立 ② 各地のイスラーム国家 ③ イスラームの都市と文化  期末考査 p84~127	・イスラーム教の成立過程と教義について学ぶ ・アラブ帝国からイスラーム帝国への発展、分裂後のイスラーム世界の拡大について学ぶ。	
9	第7章 ヨーロッパ世界の形成と展開	① 西ヨーロッパ世界の成立 ② ビザンツ帝国と東ヨーロッパ ③ 封建社会とローマ＝カトリック教会の発展	・中世封建制度が成立していく過程と制度の仕組みを学ぶ。	・授業中の態度 ・出欠状況 ・ノートやプリントなどの提出状況 ・中間考査の成績
10	第8章 中央ユーラシア世界と諸地域の交流・再編	① 中央ユーラシア諸民族と東アジア世界の変容 ② モンゴル帝国の成立	・モンゴル民族の発展、世界帝国の成立過程、元の中国支配、及び文化、東西の文化交流について学ぶ。	
	第9章 近世ヨーロッパと大航海時代	① ヨーロッパの海外進出 ② 第2次大交易時代と海域アジア ③ ルネサンスと宗教改革 ④ 主権国家体制の成立  中間考査 p128~p219	・14~16世紀にかけ、西ヨーロッパ世界が変動の時期をむかえたことを学ぶ。 ・ヨーロッパの人々の他地域へ進出により、世界的規模の商業が成立したことを学ぶ。	
	11	第10章 アジア諸地域の帝国と第2次大交易時代	① 中央ユーラシア世界と西アジア世界の帝国 ② 南アジア世界の帝国 ③ 東アジア世界の帝国	

12	第 11 章 環太平洋革命とパクス＝ブリタニカ	① イギリスの産業革命 ② 南北アメリカの革命 ③ フランス革命とナポレオン帝政	・産業革命・フランス革命が起きた要因・過程・与えた影響を学ぶ。 ・ナポレオンの果たした役割を学ぶ。	・授業中の態度 ・出欠状況 ・ノートやプリントなどの提出状況 ・期末考査の成績
	第 12 章 近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家	①ウィーン体制と 1848 年の革命 ② 19 世紀後半のヨーロッパとアメリカ  期末考査 p220～283	・ヨーロッパ各国の自由主義的・国民主義的運動と、ウィーン体制およびその解体過程について学ぶ。 ・イギリス・フランスの政治変革と、イタリア・ドイツの統一過程について学ぶ。	
1	第 13 章 地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗	①西アジアの改革運動 ② インドの植民地化 ③ ヨーロッパ・アメリカの帝国主義 ④ アフリカの分割と抵抗運動	・オスマン帝国の動揺と改革、エジプトの自立について学ぶ。 ・イギリスのインドの植民地化の過程と、それに伴うインドの社会変化について学ぶ。	・授業中の態度 ・出欠状況 ・ノートやプリントなどの提出状況 ・学年末考査の成績
2	第 14 章 二つの世界大戦	① 第一次世界大戦 ② ヴェルサイユ体制と国際協調 ③ アジアのナショナリズムの台頭 ④ 世界恐慌とファシズム ⑤ 第二次世界大戦	・ヴェルサイユ体制とワシントン体制の特徴と限界について学ぶ。 ・アジアの民族運動について、トルコ・インド・中国の動向を学ぶ。 ・第二次世界大戦の性格と終結までの流れを学ぶ。	
3	第 15 章 冷戦から多極的国际社会へ	① 冷戦時代の国際関係  学年末考査 教科書 p 286～377	・第二次世界大戦後の世界を冷戦体制を中心に学ぶ。	

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	学習活動を通して、世界の諸地域の歴史過程や文化、その交流に関心を持ち、学習活動に自ら積極的に学ぶ姿勢がみられるか。
思考・判断・表現	世界の諸地域特有な民族・風土・文化を自ら考察することによって理解を深め、過去から未来へと継続する歴史過程を適切に洞察する能力を身につけているか。
資料活用の技能	教科書や資料などから適切な情報を読み取り、年表・地図の作成や書込教材への記述、授業での発言をすることで、その理解を深めることができているか。
知識・理解	歴史的な事象を、各地域の歴史である縦軸と、その伝搬・交流である横軸の交錯によるものとして捉え、全ての要素により世界史が成り立っていることを理解しているか。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度， 思考・判断・表現， 資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ

世界史を遠い国で起きた昔の出来事にとらえるのではなく、現在私たちが生きている社会と関連することとしてとらえてください。そして、「今」、世界で起きていることは目を向けてください。現在の社会の諸問題と歴史がつながるはずです。
--

## 令和4年度 地理歴史科「日本史B」シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科 3年次 選択
教科書	詳説日本史 改訂版 (山川出版社)	副教材等	図説 日本史通覧 (帝国書院)

### 1 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史の展開を資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連づけて、総合的に考察する。</li> <li>・各時代の特色とその変遷の考察を通じて、日本文化についての認識を深める。</li> </ul>
---

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 古代国家の形成と貴族文化の誕生	1 原始社会の生活と文化 2 農耕社会の形成と大陸文化の摂取 3 律令国家の形成と古代文化の展開 4 摂関政治と文化の和様化	・旧石器時代から古代国家の成立までの歴史を概観する。	授業観察 提出課題 定期考査
5	第2章 武家社会の形成と生活文化のめばえ	1 中世社会の成立 2 武家社会の形成と東アジア	・古代から中世への転換と鎌倉幕府の歴史を確認する。 ・鎌倉幕府の滅亡と社会の変貌を学ぶ。 ・東アジアの交易と室町幕府の歴史を学ぶ。 ・下克上と戦国大名を学ぶ。	
	第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開	1 ヨーロッパ文化との接触と国内統一  中間考査	・ヨーロッパ文化の接触と織豊政権による全国統一を学ぶ。  教科書 p 6～111	
6 7		2 幕藩体制の成立  3 近世社会の発達と町人文化 4 幕藩体制の動揺と庶民文化の発達  期末考査	・江戸幕府と大名・朝廷との関係にふれながら幕藩体制を学ぶ。 ・キリスト教の禁止と鎖国を学ぶ。 ・幕府政治の進展を学ぶ。 ・経済と産業の発達と町人文化の進展を学ぶ。 ・幕藩体制の動揺と政治改革を学ぶ。 ・幕藩体制の危機と新しい文化・学問の展開を学ぶ。  教科書 p 112～158	授業観察 提出課題 定期考査
9 10	第4章 近代国家の形成と国民文化の発展	1 開国から明治維新へ 2 立憲政治の形成と国民文化  3 日本の近代化と東アジア  中間考査	・江戸幕府の滅亡と統一国家の成立を学ぶ。  ・日本の近代化と政治・社会・経済の変化を学ぶ。 ・新しい文化の形成を学ぶ。  ・東アジア世界の変容と2つの戦争を学ぶ。 ・資本主義の発達と社会の変化を学ぶ。  教科書 p 159～203	授業観察 提出課題 定期考査

10		4 デモクラシーと第一次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな国際秩序の成立について学ぶ。</li> <li>・大衆社会の成立とその影響を学ぶ。</li> </ul>	授業観察 提出課題 定期考査
11		5 激動する世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国侵略の本格化の背景と要因を学ぶ。</li> <li>・日中戦争と国内体制の改編を学ぶ。</li> </ul>	
12		期末考査	教科書 p 204～236	
1	第5章 現代の世界と日本	1 占領と国内改革  2 国際社会への復帰と高度経済成長  学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・占領と日本国憲法の成立を学ぶ。</li> <li>・国内政治の民主化を学ぶ。</li> <li>・現代社会の問題と日本の果たすべき役割を考える。</li> </ul> 教科書 p 237～243, 268～275	授業観察 提出課題 定期考査

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	歴史と現代との結びつきを考え、歴史を学ぶ意味に気づき、関心を持って主体的に学習に取り組んでいるか。
思考・判断・表現	歴史の展開を、世界の歴史や国際環境等と関連づけて多面的に考察し、公正に判断しているか。獲得した知識や考察・判断を効果的に表現することができるか。
資料活用の技能	さまざまな資料から、有用な情報を適切に選択することができるか。得られた情報や資料を活用し、さらに活用する形での発展を発想できるか。
知識・理解	基本的な歴史事項に関する知識を身につけ、各時代の特色を理解しているか。歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連づけて理解しているか。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度, 思考・判断・表現, 資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

<p>単に過去のできごとをとりあげるのではなく、それが現代までどのような影響を与えたのかも触れていきます。多種多様なアプローチから、歴史の展開を見ていきます。ですから、現代社会における時事問題にも常日頃から興味・関心を持って欲しいと思います。</p> <p>授業中だけでなく、さまざまな場面で学習したことを関連づけてとらえる発想を心がけて下さい。また、学習したことをより深めるためにも積極的に授業以外の場での活動等も試みて下さい。</p>
---

## 令和4年度 地理歴史「地理B」シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科 3 年次 1・4・5・6・8組
教科書	新詳地理B（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）	副教材等	新詳地理資料 COMPLETE 2022（帝国書院）

### 1 学習の到達目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第Ⅰ部 第1章 地理情報と地図	①地図の発達 ②地図の種類とその利用 ③地理情報の地図化	・地図の種類とその利用について、球体としての地球の特徴や緯度・経度の違いによる影響、地図に表現した場合の特性に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	・授業中の態度 ・出席状況 ・ノートやプリントなど提出状況 ・考査の成績
5	第2章 地図の活用と地域調査	①地図の活用 ②身近な地域の調査	・地形図の読図などを通して、調査内容に関する地域の情報を適切に収集・選択できる。	
	第Ⅱ部 第1章 自然環境	①世界の地形	・世界の地形について、その分布や特徴を成因と関連付けて考察するとともに、人間生活とのかかわりを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	
6		中間考査 ②世界の気候 ③日本の自然の特徴と人々の生活 ④環境問題	・世界の気候について、地域ごとの違いとその要因について理解を深めるとともに気候区ごとの特徴や人間生活との関係を考察する。また地球規模での気候変動と人々への影響を考察する。 ・世界の環境問題について、その背景や原因、影響、対策を多面的に考察する。また、日本国内の環境問題について発生した背景や問題解決への取り組みを考察する。	・授業中の態度 ・出席状況 ・ノートやプリントなど提出状況 ・考査の成績
7	第2章 資源と産業	①世界の農林水産業 ②食料問題 期末考査	・世界の農林水産業について、自然条件や社会条件と関連づけて農業の地域区分をとらえるとともに、現代世界の農林水産業の現状と課題を考察する。また、世界のなかでの日本の農林水産業の課題を考察する。	
9		③世界のエネルギー・鉱産資源 ④資源・エネルギー問題 ⑤世界の工業 ⑥第3次産業	・世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの種類・分布利用の現状や方法を考察する。 ・世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題を考察する。また、日本の工業の特徴と課題を考察する。	・授業中の態度 ・出席状況 ・ノートやプリントなど提出状況 ・考査の成績
10		⑦世界を結ぶ交通・通信 ⑧現代世界の貿易と経済圏 中間考査	・世界を結ぶ交通・通信について交通機関の種類や特徴を捉えるとともに通信の発達による世界の一体化と地域差を考察する。 ・現代世界の貿易と経済圏について、進展する国際分業の現状と課題、貿易の自由化と経済連携の動向を考察する。また、現代世界における日本の貿易の現状と課題を考察する。	

11	第3章 人口、村落・都市	①世界の人口 ②人口問題 ③村落と都市 ④都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の人口について、その分布の特徴や動態、人口構成や人口転換を考察する。</li> <li>村落と都市について、その立地条件や発達の背景、村落や都市がもつ機能と人間生活のかかわりを考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の態度</li> <li>出席状況</li> <li>ノートやプリントなど提出状況</li> <li>考査の成績</li> </ul>
12	第4章 生活文化、 民族・宗教	①世界の衣食住 ②民族と宗教 ③現代世界の国家 ④民族・領土問題 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活とのかかわりについて考察する。</li> <li>現代世界の国家について、国家と領域・国境のあり方、国家と主権の考え方、さまざまな国家と国家間の関係の課題を考察する。</li> </ul>	
1	第Ⅲ部 第1章 現代世界の地域 区分 第2章 現代世界の諸地域	①地域区分とは何か  ①地域の考察方法 ②東アジア ③東南アジア ④南アジア ⑤西アジアと中央 アジア ⑥北アフリカとサハラ以南のアフリカ ⑦ヨーロッパ ⑧ロシア ⑨アングロアメリカ ⑩ラテンアメリカ ⑪オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> <li>国・地域ごとの地域区分と考察の方法について理解する。</li> <li>東南アジアについて、形式的な地域区分にもとづき、自然環境、歴史と文化・民族、農業、工業、ASEANの変化と課題という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。</li> <li>ロシアについて、亜寒帯が広がる自然環境に着目した地域区分にもとづき、自然環境、歴史、産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の態度</li> <li>出席状況</li> <li>ノートやプリントなど提出状況</li> <li>考査の成績</li> </ul>
	第3章 現代世界と日本	①日本が抱える地理的な諸課題 ②日本の抱える課題の探究 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代世界において日本が抱える地理的な諸課題について、多面的・多角的に考察し、探究する活動を通して、その解決の方向性や将来像について考察する。</li> </ul>	

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。
思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、地域性や歴史的背景、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用 の 技 能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
知識・理解	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用 の 技 能 及 び 知 識 ・ 理 解 の 4 観 点 か ら 総 合 的 に 評 価 す る。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

「地（ち）の理（ことわり）」の通り、地理学は自分の身の周りで何が起きているのか、その原因は何かを突き詰めていく学問です。授業で学習した内容とマスメディアやインターネットなどから得られる情報をリンクさせ、現代世界の様々な出来事 の経糸（たていと）と緯糸（よこいと）を見出して特性を知るとともに様々な諸課題の解決方法を一切妥協せずに探っていきましょう。
---

## 令和4年度 地理歴史「世界史研究」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科3年次 1・5・8組
教科書	明解世界史A (帝国書院)	副教材等	最新世界史図説タペストリー (帝国書院)

### 1 学習の到達目標

- ①世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させる。
- ②文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
- ③近現代史を学ぶ事により、現代社会の諸課題を歴史的観点から考察し、認識を深めさせる。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	1部 世界の一体化と 日本 1章 前近代の諸文明	序節 人類の始まり	人類の登場と、農耕・牧畜による食料生産を基礎にして、人類が文明を築き、歴史時代へはいつていくありさまを地域ごとに概観し、各地域世界が形づくられていく過程を理解する。 東アジア、南アジア、東南アジア、西アジア・北アフリカ、ヨーロッパの風土と諸民族、宗教などを通して各地における文明の特質を理解する。	・授業態度 ・出欠状況 ・ノートやプリントなどの提出状況 ・中間考査
5		1節 東アジアの文明		
5		2節 南アジアの文明		
5		3節 東南アジアの文明		
5		4節 西アジア・北アフリカの文明		
5	5節 ヨーロッパの文明	中間考査		
6	2章 一体化に向かう 世界	6節 南北アメリカの文明	南北アメリカ大陸の風土と先住民にふれ、ヨーロッパが進出する以前の南北アメリカ大陸において独自の文化が築かれていたことを理解する。 ユーラシアの内陸及び海域のネットワークを背景に、諸地域間の交流が進み、ユーラシア規模の交流圏が成立していくようすを交易品などの事例を通して巨視的かつ視覚的に把握し、相互の文化受容の進展について理解する。 アジアのティムール・オスマン・ムガル・明・清などの諸帝国の政治と社会にふれ、この時期に安定した支配と経済の繁栄を背景に、文化も黄金時代を迎えたことを理解する。 ルネサンスと宗教改革、新航路の開拓などにふれ、16世紀頃から始まった世界の一体化への動きと新たなヨーロッパのわく組みとなった主権国家体制の形成について理解する。	・授業態度 ・出欠状況 ・ノートやプリントなどの提出状況 ・期末考査
6		7節 ユーラシアの交流圏		
7		1節 繁栄するアジア		
7		2節 大航海時代と新たな国家の形成	期末考査	
9	3章 欧米の工業化と アジア諸国の 動揺	1節 ヨーロッパとアメリカの諸革命	アメリカ諸国の独立、フランス革命、産業革命、拡大する貿易活動などを通して、西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し、市民社会および国民国家の形成が進行したことを理解する。 19世紀後半のヨーロッパ、アメリカ社会を通して、自由主義とナショナリズムが進展していくようすとアメリカの発展について理解する。 オスマン帝国の弱体化やムガル帝国の崩壊などを通して、世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容など、アジア諸国の動揺のようすを理解する。 アヘン戦争やアロー戦争などの西洋の衝撃により、冊封＝朝貢体制に基づく東アジアの伝統的な国際秩序が崩壊していく過程を通して、ヨーロッパ諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況、半植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、その中での日本の対応など、東アジアの大変動を理解する。	・授業態度 ・出欠状況 ・ノートやプリントなどの提出状況 ・中間考査
9		2節 自由主義・ナショナリズムの進展		
10		3節 アジア諸国の動揺		
10		4節 東アジアの大変動		
10		中間考査		



11	2部 地球社会と日本 1章 現代世界の芽生えと世界 大戦	1節 現在につながる 社会の形成	交通革命、マス＝メディアの発達、企業や国家の巨大化、 社会の大衆化と政治や文化の変容、公教育の普及と国民統 合などを通して、20世紀という時代の特徴を把握すると ともに、欧米諸国によるアジア・アフリカの植民地化をめ ぐる競合と人口移動から、世界の支配・従属関係を伴う一 体化と社会の変容を理解する。 第一次世界大戦と総力戦としての様相、ロシア革命、ソヴ ィエト連邦の成立、戦争と革命による国際秩序の変化、ア メリカの大衆生活とその波及を通して、20世紀初頭の変 化の様相を理解する。 インド・中東および東アジアの民族運動を通して、“民族 自決”を求めたアジアのナショナリズムの動きを理解す る。 第二次世界大戦の原因や総力戦として性格、それらが及ぼ した影響を理解し、平和の意義などについて考察する。2 部1章2節とあわせて20世紀前半の国際政治の流れを概 観し、国際関係の変遷と社会の特徴を理解する。	・授業態度 ・出欠状況 ・ノートやプリ ントなどの 提出状況 ・期末考査
		2節 第一次世界大戦が もたらしたもの 3節 民族自決を求めて 4節 経済危機から第二次 世界大戦へ 期末考査		
1	2章 冷戦から地球 社会へ	1節 冷たい戦争の時代	第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカ の民族運動と植民地支配からの独立を理解し、核兵器問題 やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察す る。 1970年代以降は市場経済の世界化をはじめ、米ソのゆら ぎや冷戦の終結などから、世界が大きく変容し、今日に至 っていることを理解する。 冷戦終結後の世界の政治・経済の動向について理解すると ともに、日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いな がら共存する方向を模索し、これからの国際社会における 日本の役割について考察する。 三つの事例、①フランスから送還されたロマの人々、②よ みがえる伝統工芸“ノクシカタ”、③ピョートル大帝の夢 と枯渇する大アラル海、を通して、“共に生きる世界”につ いて考察し、その構築に向けての方策を探る。そして、こ れからの世界と日本のあり方や世界の人々が共存できる、 環境・経済・社会のバランスが保たれた“持続可能な社会” の実現について考える。	・授業態度 ・出欠状況 ・ノートやプリ ントなどの 提出状況 ・学年末考査
2		2節 冷戦終結への道のり 3節 地球社会への歩み		
3		4節 持続可能な社会を めざして 学年末考査		

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	近現代の世界に対する関心と課題意識を高め、歴史的観点から意欲的に探究するとともに、国際社会に主体的に生き 国家・社会を形成する日本国民として責務を果たそうとする。
思考・判断・表現	近現代の世界について、歴史的観点から課題を見いだし、文化の多様性・複合性や現代世界の特徴を多面的・多角 的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能	近現代の世界に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
知識・理解	近現代の世界に関する特色など、基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史関連づけながら理解し、その知識を身に 付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

現在の社会の諸問題と歴史は深くつながっています。まず、2年生までの世界史Aの復習をして下さい。次に授業時に 世界地図を毎回持参し、諸問題の場所を確認して下さい。さらにニュースをよく見聞きし、世界の動きに注目して下さい。
--

## 令和4年度 地理歴史科「日本史研究」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科 3年次 選択
教科書	日本史A 現代からの歴史（東京書籍）	副教材等	図説 日本史通覧（帝国書院）

### 1 学習の到達目標

- ・我が国の近現代の歴史の展開を国際環境や地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させる。
- ・近代の特色を大観的に捉えるとともに、諸資料を活用して歴史を考察し表現する能力を培う。
- ・各時代の特色とその変遷の考察を通じて、日本文化についての認識を深める。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 近代日本の形成 1 国際情勢の変化と明治維新	1 アジア世界の変動 2 開国前夜の日本 3 ペリー来航と条約調印 4 幕末政争の展開 5 大政奉還と王政復古	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業革命の進展によってイギリスを中心に資本主義が急速に発展し、欧米諸国が18世紀以降にアジアに進出してきた背景を考察する。</li> <li>・ロシア・イギリスなどの外国船の来航と蝦夷地の動向やそれに対する海防論や幕府の対外政策の変化について理解する。</li> <li>・儒学と教育が普及し、国学と蘭学が隆盛し、封建社会の矛盾を打開・批判する政治思想が出現した因果関係を考察する。</li> <li>・商品経済の発達に村社会の変化をもたらし、貧富の差の拡大や飢饉を背景に百姓一揆や村方騒動が増大したことを認識する。</li> <li>・幕藩体制の動揺と内外情勢の緊迫の中で実施された幕政改革や藩政改革の評価と課題をまとめる。</li> <li>・ペリー来航から日米和親条約にいたる対外情勢の動向と幕府の対応の適否を考察する。</li> <li>・通商条約の締結に対する国内政局の動向と課題に注目する。</li> <li>・開港後の貿易が国内経済の混乱を招き、尊王攘夷運動の激化にも影響したことを理解する。</li> <li>・討幕運動の展開と幕府・諸藩・英仏など諸外国の相互の関わり方の因果関係を大観的に捉える。</li> </ul>	授業観察  提出課題  定期考査
5				
6	第1章 2 明治新政府の諸改革	1 新政府の成立 2 身分制度の解体 3 地租改正と殖産興業 4 文明開化の社会 5 明治初期の外交と内政 6 北海道・琉球と国境問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸幕府の滅亡から明治新政府の成立にいたる経過を読み解く。</li> <li>・版籍奉還・廃藩置県・四民平等政策などを通して明治新政府の政治理念を探究する。また、明治新政府の近代化政策とそれに対する民衆の動向に注目する。</li> <li>・文明開化の実態と民衆の生活・文化への影響を考察する。また岩倉使節団の派遣などを通して明治初期の外交課題をまとめる。</li> </ul>	授業観察  提出課題  定期考査
7				
9	第1章 3 立憲国家の成立	1 自由民権運動と政府の対応 2 松方財政と民権運動 3 大日本帝国憲法の制定 4 初期議会と条約改正 5 国民文化の諸相	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由民権運動が政府に何を求め、その結果どのような成果を得たのかを考察する。</li> <li>・大日本帝国憲法とそれに依拠した立憲体制の実態を分析する。また初期議会の動向と条約改正の成功を、当時の世界情勢に着目して考察する。</li> </ul>	授業観察  提出課題  定期考査
10	第2章 東アジア世界の変動と日本 1 日清戦争と近代社会の確立  2 日露戦争と帝国日本の形成	1 帝国主義の時代と東アジア  2 日清戦争 3 日清戦争後の政治と社会  1 日英同盟と日露戦争 2 韓国併合と東アジア 3 産業革命と資本主義の発達 4 桂園時代と社会問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日清戦争が近代日本にどのような影響を与えたかを、アジア世界の視点で捉える。また、日清戦争後の内外情勢の変化や日露の対立の原因を広く世界の歴史に着目して考察する。</li> <li>・日露戦争の結果、日本は世界でどのような地位を占めるようになったかを分析する。</li> <li>・資本主義の発達が社会問題や労働問題を生んだ因果関係と政府の対応策を考察する。</li> <li>・伝統的な文化の上に欧米文化を取り入れて形成された近代文化の特色を、国家主義の浸透を踏まえて多面的に捉える。</li> </ul>	授業観察  提出課題  定期考査

10	第3章 二つの世界大戦と日本 1 第一次世界大戦と帝国日本	1 第一次世界大戦と日本の中国侵略 2 パリ講和会議と東アジアの独立運動 3 大戦による社会の変化と独立運動 4 大正デモクラシーの思想と大衆文化 5 帝国日本と移動する人々	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヴェルサイユ講和条約からワシントン体制にいたる動向が世界に与えた影響と我が国の立場を多面的・多角的に考察する。</li> <li>・大正デモクラシーの意味とその展開過程を大観的に捉える。また、第一次世界大戦前後の国際情勢と我が国の対応の背景を分析する。</li> <li>・大正デモクラシー期の国民生活の実態を調査するとともに、現代と比較してまとめる。</li> </ul>	授業観察 提出課題 定期考査
11	2 政党政治の時代	1 政党政治と国際協調 2 関東大震災と社会の統制 3 護憲三派内閣と協調外交のゆきづまり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいつぐ恐慌が日本の社会や政治の方向にどのような影響を与えたかを読み解く。また世界恐慌に対する我が国の対応策を世界と比較しながら多角的に分析する。</li> </ul>	
12	3 軍国日本への道	1 昭和恐慌と深刻な不況 2 満州事変と満州国 3 軍部の台頭と二・二六事件 4 日中全面戦争の開始 5 国家総動員の時代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二・二六事件から日中戦争をへて国家総動員体制に至る過程を国民の視点で分析する。</li> <li>・第二次世界大戦の推移と日本の動向を日米関係に注目して理解する。また、アジア太平洋戦争の展開範囲を地図などの資料を駆使して読み解く。</li> </ul>	
1	第3章 4 太平洋戦争  第4章 第二次世界大戦後の国際社会と日本 1 現代世界の開幕と日本の戦後改革  2 高度経済成長の時代	1 第二次世界大戦と太平洋戦争 2 戦時総動員の徹底と矛盾 3 大東亜共栄圏 4 大日本帝国の崩壊へ  1 大戦後の世界と日本 2 東アジアの再編と人々 3 本土占領と戦後改革の開始 4 日本国憲法の制定と戦後改革の開始 5 困難のなかでの開放感 6 再建と復興への道  1 冷戦下の講和 2 保革の対立と55年体制 3 高度経済成長とそのひずみ 4 暮らしの現代化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の占領下のアジア各地の動向をアジアの人々の目線で捉える。さらに戦時下の国民生活の実情を、身近な人々からの聞き取りなどを通してレポートにまとめて発表する。日本の敗戦の経緯を考察し、年表などにまとめる。</li> <li>・占領と日本国憲法の成立を学ぶ。</li> <li>・国内政治の民主化を学ぶ。</li> <li>・現代社会の問題と日本の果たすべき役割を考える。</li> <li>・55年体制の成立の背景と安保闘争の意義を考察する。</li> <li>・高度経済成長の経緯をそのひずみにも着目して読み解く。</li> <li>・1970年代の日本の政治経済状況と世界情勢の動向を多角的に捉える。経済大国意識や行革路線が現代の社会に与えた影響にも着目する。</li> </ul>	授業観察 提出課題 定期考査

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	歴史と現代との結びつきを考え、歴史を学ぶ意味に気づき、関心を持って主体的に学習に取り組んでいるか。
思考・判断・表現	日本の近現代の歴史の展開を、世界の歴史や国際環境等と関連づけて多面的に考察し、公正に判断しているか。獲得した知識や考察・判断を効果的に表現することができるか。
資料活用の技能	さまざまな資料から、有用な情報を適切に選択することができるか。得られた情報や資料を活用し、さらに活用する形で発展を発生できるか。
知識・理解	基本的な日本近現代史の歴史事項に関する知識を身につけ、各時代の特色を理解しているか。歴史の展開を地理的条件や世界の歴史と関連づけて理解しているか。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

単に過去のできごとをとりあげるのではなく、それが現代までどのような影響を与えたのかも触れていきます。多種多様なアプローチから、歴史の展開を見ていきます。ですから、現代社会における時事問題にも常日頃から興味・関心を持って欲しいと思います。授業中だけでなく、さまざまな場面で学習したことを関連づけてとらえる発想を心がけて下さい。また、学習したことをより深めるためにも積極的に授業以外の場での活動等も試みて下さい。
--

## 令和4年度 公民「倫理」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科 3年次 選択者
教科書	「高等学校 改訂版 倫理」(第一学習社)	副教材等	「アプローチ 倫理資料 PLUS」(東京法令出版)

### 1 学習の到達目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
4	第1編 1章 青年期の課題と自己形成	① よく生きることを求めて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の特質とは何かを理解する。</li> <li>・自分の生きている青年期はどのような位置にあり、どのような発達課題があるのかを考える。</li> <li>・青年期の心身の特徴を把握するとともに、青年期の悩みの心理的特徴に気づき、悩むことが自己形成につながることを理解する。</li> <li>・自分自身の心に起こる状態を防衛機制の図にあてはめて考え、ねばり強く欲求を抑制し、調整しながら目標達成を図る必要性を理解する。</li> <li>・生きることの意味についていろいろな視点から考え、今後の自分の生き方に生かす知識として身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> <li>・ノート提出</li> </ul>	
5		② 青年期の課題 ③ 自己の探究 1-青年期の心理とパーソナリティ 2-青年期の人間関係 ④現代の青年期  中間考査			<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界で起こっている宗教を原因とする争いを調べ、宗教とは何かについて、意欲的に考察する。</li> <li>・哲学や宗教の意義を考え、先人の生き方を手がかりに、どのように生きていくべきかを学ぶ。</li> <li>・イエスの思想をユダヤ教と対比させて、神の愛・律法の内面化という視点を中心に理解する。</li> <li>・キリスト教信仰の構成に関心をもち、キリスト教的な生き方や人間観の特徴を、興味をもって探究する。</li> <li>・キリスト教が愛の宗教であるといわれるのはなぜかを多角的・多面的に考察する。</li> </ul>
6	2章 人間としての自覚 第1編	① ギリシャの思想 1-哲学の形成 2-ソクラテス 3-プラトン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラームはどのようにして誕生したか、ムハンマドの教えにはどのような特徴があるのか、ユダヤ教やキリスト教とはどのように関係するかを理解する。</li> <li>・メッカの方向を調べるなどして、イスラームの基本的教義(六信・五行)を実感する。</li> <li>・インドの人々はどのような死生観をもっているかを理解する。</li> <li>・ゴータマの教えは、深い思索を続ける生き方そのものであることを理解する。</li> <li>・日本にもっともなじみの深い宗教である仏教の教えを知り、仏教思想の現代的な意義はどこにあるのかを考察する。</li> <li>・「ゴータマのことば」を味わい、仏教の基本である、人間どうしが支えあいながら生きていくという視点を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> <li>・ノート提出</li> </ul>	
7		② キリスト教 1-ユダヤ教の世界 2-イエス 3-キリスト教の発展  期末考査			<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の思想は、歴史的に日本にもっとも大きな影響を与えたものであることを知り、私たちの現在や未来にどのようなかかわっているのかを考察する。</li> <li>・人間の尊厳にかかわる思想家の思索を通して、西洋の近代人は、人間の尊厳をどこに見いだしていたのかを考える。</li> </ul>
9	4章 現代に生きる人間の倫理	③イスラーム ④仏教 1-インドの思想文化 2-ゴータマの教説 3-仏教思想の展開  中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会において人間の尊厳を自覚することの意義について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> </ul>	
10		④ 中国の思想 1-中国の思想文化 2-儒家の思想 3-道家の思想			<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> <li>・ノート提出</li> </ul>
11		①人間の尊厳 1-ルネサンスと 宗教改革 2-人間性の探究 期末考査			
12				<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> </ul>	

1		③ 近代の科学革命と自然観 1－近代の科学革命 2－経験論と合理論 3－自然観の転換 2－人格の尊厳と自由 －カント 3－人倫と自由の実現 －ヘーゲル 4－功利主義の思想 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代の科学ほどのような背景から発生したのかを理解する。</li> <li>・ベーコンやデカルトによる科学的考え方の特色を理解し、科学技術の発達と自然との共生についての興味・関心を高める。</li> <li>・経験論と合理論の考え方を、自己の課題とつなげて理解する。</li>   <li>・カントやヘーゲルの思索の内容を整理して理解する。</li> <li>・ベンサムやミルの幸福に対する考え方の違いを理解する。</li> <li>・功利主義の思想からよく生きるとはということかを理解し、自分自身の生き方につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・提出課題</li> <li>・小テスト</li> <li>・ノート提出</li>   <li>・定期考査</li> </ul>
---	--	---	---	---

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	人間尊重の精神と自己形成について関心を高め、人格の形成と生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲をもつとともに、これらにかかわる諸課題を探究する態度を身につけ、人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。
思考・判断・表現	生きる主体としての自己の確立について広く課題を見いだし、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。
観察・実験の技能	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択して、これらを自己形成に資するように活用し、学び方を身につける
知識・理解	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などにかかわる基本的な事柄を、生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている

### 4 評価の方法

<p>関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。</p>
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>倫理という科目は、「世界の見方」を学ぶ科目です。私たちは一人一人が自分の目で物事を見ます。しかし、自分の目以外でみることはできません。倫理を学ぶ意味はここにあります。自分以外の目で見ることができなくとも、それを想像すること、伝えること、思いやることができます。それを学ぶのが倫理という科目です。考えることが多い科目ですが、ここで考えたことで、世界をもっと遠くまで見渡せるようになってほしいと思います。</p>
---

## 令和4年度 公民「政治・経済」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年1～7組（選択）
教科書	改訂版 政治・経済（数研出版）	副教材等	最新図説 政経（浜島書店）

### 1 学習の到達目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 第1節 経済活動の意義と経済体制	①人間と経済活動 ②資本主義経済の発展 ③経済活動の主体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資本主義経済と社会主義経済の特徴とその変容の過程を理解する。</li> <li>・現代の企業の形態や組織上の特徴について理解する。</li> <li>・3つの経済主体について理解し、現代の企業活動の多様化やグローバル化について興味・関心を高め、現代における企業の役割について考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の態度</li> <li>・出欠状況</li> <li>・ノート・プリントなどの提出状況</li> <li>・中間考査の成績</li> </ul>
	5	第2節 現代経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>①市場経済のしくみ</li> <li>②物価の動向</li> <li>③国民所得と経済成長</li> <li>④財政のしくみと租税</li> <li>⑤金融のしくみと働き</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場経済の機能や限界、GDPをはじめとする経済指標について理解する。</li> <li>・金融システムの概要や、金融政策の仕組み、金融自由化について理解する。</li> <li>・財政の役割や、予算制度や租税制度の概要について理解し、財政上の課題について考察する。</li> </ul>	
6	第3節 日本経済と福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>①戦後日本経済のあゆみ</li> <li>②中小企業と農業・食料</li> <li>③公害防止と環境保全</li> <li>④消費者問題と消費者保護</li> <li>⑤労使関係と労働市場</li> <li>⑥少子高齢社会と社会保障</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後日本経済のあゆみについて理解し、今後の日本経済を考察する。</li> <li>・中小企業や農業の現状と課題について理解する。</li> <li>・公害問題の歴史について、その原因と政府の取り組みを中心に理解し、今後の教訓を考える。</li> <li>・日本の物価や消費者問題について、その背景と今後の解決策を考察する。</li> <li>・労働問題の歴史や、労働者の権利保障の意義について理解する。</li> <li>・日本の社会保障制度を理解し、少子高齢化が進展する中での今後の社会保障の在り方について考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の態度</li> <li>・出欠状況</li> <li>・ノート・プリントなどの提出状況</li> <li>・期末考査の成績</li> </ul>
7	第2章 国民経済と国際経済 第1節 国際経済の動向 第2節 国際経済の課題と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>①貿易と国際収支</li> <li>②国際経済のしくみ</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地球環境と資源・エネルギー問題</li> <li>②発展途上国の経済と経済協力</li> <li>③国際経済における日本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由貿易と保護貿易について理解し、為替相場の変動要因とその影響、国際収支について理解する。</li> <li>・戦後の国際経済の動向について理解し、EU等の地域的経済統合や、FTA等の地域間協定が、国内経済や世界経済に与える影響について考察する。</li> <li>・地球規模での環境問題、資源・エネルギー問題について考察する。</li> <li>・南北問題や南南問題、社会主義経済の変容等について理解する。</li> <li>・国際経済における日本の果たすべき役割について考える。</li> </ul>	
9	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 第1節 民主政治の基本原則	<ul style="list-style-type: none"> <li>①政治と法</li> <li>②民主政治のあゆみ</li> <li>③民主政治の基本原則とその展開</li> <li>④政治体制の比較</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治とは何かについて様々な視点から考察する。</li> <li>・社会契約説の内容や社会契約説を唱えた思想家の考えについて理解する。</li> <li>・法の支配の歴史を学ぶとともに、人権論の歩みと人権の国際化が進んだ現状を理解する。</li> <li>・民主政治の歴史的展開を理解するとともに、現代の世界における民主政治の類型とその特徴を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の態度</li> <li>・出欠状況</li> <li>・ノート・プリントなどの提出状況</li> <li>・中間考査の成績</li> </ul>
10	第2節 日本国憲法と基本的人権	<ul style="list-style-type: none"> <li>①日本国憲法の基本的性格</li> <li>②基本的人権の保障</li> <li>③日本国憲法の平和主義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の成立過程や内容について、大日本帝国憲法との比較を通して理解する。</li> <li>・人権保障の意義を深く認識し、日本国憲法における人権保障の内容について理解するとともに、現代の人権問題について興味・関心を高める。</li> <li>・憲法前文や第9条の精神を踏まえつつ、自衛隊や日米安全保障条約の合憲違憲の問題や、国際環境が変化する中での日本の安全保障の在り方について考察する。</li> </ul>	

11	第3節 日本 の政治 機構	①国会のしくみと役割 ②内閣と行政機構 ③裁判所のしくみと人 権保障 ④地方自治のしくみと 住民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>国会の組織・権限・機能を理解し、日本の国会運営の課題と今後の国会運営の在り方について考察する。</li> <li>内閣の仕組みと権限について理解し、現代の行政の課題と今後の在り方について考察する。</li> <li>司法権の独立の意味と司法制度の仕組みについて理解し、日本の裁判制度の課題と今後の司法の在り方について考察する。</li> <li>地方自治の意義や住民の直接参加の様々な制度を理解し、地方自治の課題について考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の態度</li> <li>出欠状況</li> <li>ノート・プリントなどの提出状況</li> <li>期末考査の成績</li> </ul>
	12	第4節 政治参加と 民主政治の 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①戦後政治と政党</li> <li>②選挙制度のしくみ</li> <li>③世論と情報化社会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の選挙制度の歴史と現状を理解し、日本の選挙や政治意識における問題点について考える。</li> <li>日本の政党政治の問題点と望ましい市民の政治参加の在り方について考察する。</li> <li>マスメディアの世論形成に果たす役割について理解し、政治とマスメディアの望ましい関係について考察する。</li> </ul>
1	第2章 現代の国際 政治 第1節 国際政治の 動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>①国際社会の特質</li> <li>②国際社会と国際法</li> <li>③国際社会の組織化</li> <li>④戦後国際政治の展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際連合を中心として、国際秩序を維持する仕組みについて理解するとともに、国際連合の問題点について考察する。</li> <li>冷戦体制の成り立ちの歴史について理解し、冷戦終結後の軍縮や地域紛争への対処などに対して、国際社会がどのように取り組むべきか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の態度</li> <li>出欠状況</li> <li>ノート・プリントなどの提出状況</li> <li>期末考査の成績</li> </ul>
	第2節 国際社会の 課題と日本 の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>①核兵器の廃絶と軍縮 問題</li> <li>②地域紛争と人種・民 族問題</li> <li>③日本の国際的地位と 役割</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦後日本外交の歩みについて理解するとともに、日本の安全保障やアジアを中心とする国際社会における日本の役割について考察する。</li> <li>世界各地で発生している地域紛争や民族問題の背景を理解し、その解決方法について考える。</li> <li>国際社会における現在の日本の立場を多面的に考察し、日本の役割について考える。</li> </ul>	

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的なよりよい社会生活の実現に向けて、参加・協力する態度を身につけ、人間としての在り方・生き方についての自覚を深めようとする。
思考・判断・表現	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見出し、その本質的な特質、望ましい解決の在り方について、広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
知識・理解	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質・特質および動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、資料活用の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

政治経済という科目は、基本的な知識・原理・概念を覚えるだけでなく、一人の国民、生活者の立場から、それらが生じた背景や改善のあり方について考えることが、本当の理解や自分の考えを作り上げることに繋がります。ノートは板書事項をそのまま写すだけでなく、説明した内容や自分の考えたこと・感じたこと、さらに興味を持ったことなどをメモして整理したりすると、学習に広がり生まれます。

また、政治・経済の生きた教材は、新聞やニュースなど、身の回りにたくさんあります。日頃から積極的に新聞を読み、ニュースを見て、世の中で起きていることに興味・関心を持つことが重要です。

18歳になって選挙権が与えられる皆さんには、ぜひとも政治・経済についての基本的な知識を身につけた上で、良き有権者として選挙に臨んでほしいと思います。1年間、頑張ってください。

## 令和4年度 数学 「数学Ⅲ」 シラバス

単位数	5単位	学科・学年・学級	普通科 3年 3, 7組 選択
教科書	「新編数学Ⅲ」(東書 数Ⅲ302)	副教材等	準拠問題集「ニューアシスト 新編数学Ⅲ」(東京書籍)

### 1 学習の到達目標

平面上の曲線、複素数平面、極限、微分法および積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	1章 平面上の曲線 1節 2次曲線	1 放物線 2 楕円 3 双曲線 4 2次曲線と平行移動 5 2次曲線と直線	それぞれの定義を理解し、グラフの概形をかくことができる。 微分を学びながら関係する事項を学習する。	行動観察 小テスト ノートチェック 問題演習課題 定期考査
	2節 媒介変数表示 と極座標	1 媒介変数表示 2 極座標と極方程式 3 いろいろな曲線		
	3章 関数と極限 1節 関数	1 分数関数とグラフ 2 無理関数とグラフ 3 逆関数と合成関数	いろいろなグラフをかくことができる。また、それぞれのグラフの特徴を理解する。 微分を学びながら関係する事項を学習する。	
	2節 数列の極限 3節 関数の極限	1 数列の極限 2 数列の極限 3 無限級数 1 関数の極限 2 いろいろな関数と極限 3 関数の連続性	無限の概念を理解し、簡単な極限をもとめることができるようになる。 微分を学びながら関係する事項を学習する。	
5	4章 微分 1節 微分法	1 導関数 2 積・商の微分法 3 合成関数の微分法	導関数の定義にしたがって、基本的な関数の導関数を求めることができる。また、導関数の基本的な性質を理解する。 積・商の導関数について理解し、それらを用いていろいろな関数の導関数を求めることができる。 また、 $n$ が整数のとき、 $(x^n)' = nx^{n-1}$ が成り立つことを理解する。 合成関数の微分法および逆関数の微分法を理解し、それらを用いていろいろな関数の導関数を求めることができる。また、 $n$ が有理数のとき、 $(x^r)' = rx^{r-1}$ が成り立つことを理解する。	中間考査
	2節 いろいろな関数の導関数	1 三角関数の導関数 2 対数関数・指数関数の導関数 3 高次導関数	三角関数の加法定理から導かれる積を和・差に、和・差を積になおす公式を理解する。また、三角関数の導関数について理解し、三角関数を含む関数の導関数を求めることができる。 自然対数の底 $e$ を導入し、対数関数の導関数を理解する。また、対数微分法を理解し、それらを用いて、指数関数の導関数を求めることができる。	
6	5章 微分の応用 1節 接線、関数の増減	1 接線の方程式 2 平均値の定理 3 関数の増減 4 関数の極大・極小 5 2次導関数とグラフ	曲線の接線の方程式および法線の方程式を求めることができる。 平均値の定理について関心をもち、その意味を理解する。 関数の値の変化を調べ、極値を求めることができる。 曲線の凹凸に関する性質を理解する。また、これまで学習したことを総合して関数のグラフの概形をかくことができる。	行動観察 小テスト ノートチェック 問題演習課題 定期考査
	2節 いろいろな微分の応用	1 最大・最小 2 方程式、不等式への応用 3 媒介変数で表された関数の微分 4 速度・加速度) 5 近似式	微分法を用いて、関数の最大値、最小値を求めることができる。 微分法を用いて、不等式を証明することができる。また、方程式の実数解の個数を調べることができる。 媒介変数で表された関数の微分法を理解し、その数を求めることができる。 運動する点の速度・加速度が導関数を用いて表現できることを理解する。	
7		期末考査		



9	6章 積分とその 応用 1節不定積分 2節定積分	1 不定積分	不定積分の基本的な性質・公式を理解し、基本的な関数の不定積分を求めることができる。	行動観察 小テスト ノートチェック 問題演習課題 定期考査
		2 置換積分法 3 部分積分法 4 いろいろな関数の不定積分	置換積分法・部分積分法について理解する。また、この方法により不定積分を求めることができる。 分数関数や三角関数を変形して、不定積分を求めることができる。 定積分の値を計算することができる。	
10		1 定積分	置換積分法を用いて、定積分の値を求めることができる。 偶関数と奇関数の定積分の性質を理解する。 部分積分法を用いて、定積分の値を求めることができる	
		2 定積分の置換積分法 3 偶関数と奇関数の定積分 4 定積分の部分積分法		
		5 定積分で表された関数	積分と微分の関係を理解する。	
中間考査				
11	3節 定積分の応用	1 面積	いろいろな曲線で囲まれた図形の面積の求め方を理解する。また、その値を計算することができる。	行動観察 小テスト ノートチェック 問題演習課題 定期考査
		2 体積	立体の体積が定積分によって求められることを理解する。また、その値を求めることができる。	
12		3 曲線の長さとのり	曲線の長さが定積分によって求められることを理解する。また、その値を求めることができる。	
		4 定積分と区分求積法	区分求積法について関心をもち、その考え方を理解する。また、区分求積法により面積を求めることができる。	
		5 定積分と不等式	定積分を用いて、不等式を証明することができる。	
期末考査				
1	2章 複素数平面 1節 複素数平面 2節 複素数の応用	1 複素数平面	複素数平面上の点が複素数を表していることを理解する。また、複素数平面上における複素数の和・差・実数倍とベクトルの和・差・実数倍の関係を理解する。	行動観察 小テスト ノートチェック 問題演習課題 定期考査
		2 複素数の極形式	複素数の極形式を理解し、 $\theta$ の形の複素数を極形式で表すことができる。また、複素数の積・商と複素数平面上の回転・移動の関係を理解する。	
		1 ド・モアブルの定理	ド・モアブルの定理を理解する。また、ド・モアブルの定理を用いて $\theta$ の解を求めることができる。さらに、その解を複素数平面上に図示することができる。	
		2 図形への応用		
学年末考査				

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法および積分法に関心をもち、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法および積分法における数学的な見方や考え方を身につけている。
数学的な技能	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法および積分法において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。
知識・理解	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法および積分法における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、数学的な見方や考え方、数学的な技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>毎日の学習が確かな学力を身につけるただ一つの方法です。5単位の科目なので、その日に行った学習内容を必ず復習してください。小テストを実施しますので、そこで、学習済みの内容を習得しているか確認してください。わからないことがあれば、その場で解決するよう心掛けて、自ら学ぶ姿勢をもつようにすること。</p> <p>学習の習熟状況や進捗状況により、学習時期が前後する場合があります。発展的な関連する内容を取り扱うこともあります。</p>
--

## 令和4年度 数学「数学研究」シラバス

単位数	3 単位	学科・学年・学級	普通科 3年1, 2, 4, 5, 6, 7組
教科書	東京書籍「新編数学Ⅰ」「新編数学A」	副教材等	数研出版「リンク数学Ⅰ・A 受験編 a + b + c」

### 1 学習の到達目標

数学Ⅰ、数学Aおよび数学Ⅱにおける学習内容の再確認とさらなる習熟を図り、また、それらを相互に関連付けることにより、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、諸課題の解決に向け、数学の考え方を活用する態度を育てる。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	1 数と式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整式の加法・減法・乗法</li> <li>・ 因数分解</li> <li>・ 根号を含む式の計算</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整式の加法・減法・乗法，因数分解を確認し、因数分解では立方の公式や複2次式についても解説する。</li> <li>・ 平方根や絶対値の計算について確認し、2重根号の簡約、<math>\sqrt{(\text{文字式})^2}</math>も考察する。</li> </ul>	定期考査 授業での 行動観察 問題集(テキスト) 小テスト 課題プリント など
5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次不等式</li> <li>・ 絶対値を含む方程式・不等式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次不等式の解法を確認し、絶対値を含む不等式についても理解する。</li> </ul>	
	3 2次関数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関数</li> <li>・ 2次関数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次関数のグラフの特徴や平方完成によるグラフのかき方を確認する。平行移動や対称移動についても考え、微分によるグラフのかき方についても触れる。</li> </ul>	
		(中間考査)		
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次関数の最大・最小</li> <li>・ 2次関数の決定</li> <li>・ 2次方程式</li> <li>・ 2次方程式のグラフとx軸の共有点</li> <li>・ 2次不等式</li> <li>・ 2次不等式の応用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次関数の最大値・最小値の求め方，2次関数の決定の方法を確認する。文章問題や未知数を含む最大・最小問題も解説する。</li> <li>・ 2次方程式や2次不等式の解法や放物線との関係を確認する。連立不等式や2次方程式の虚数解についても触れる。</li> </ul>	定期考査 授業での 行動観察 問題集(テキスト) 小テスト 課題プリント など
7	2 集合と命題 6 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集合</li> <li>・ 集合と要素の個数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学Ⅰと数学Aで学んだ集合の考えをまとめて確認をする。複雑な包含関係の考察方法なども取り上げる。</li> </ul>	
		(期末考査)		
9	2 集合と命題  4 図形と計量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 命題と条件</li> <li>・ 論証</li> <li>・ 直角三角形と三角比</li> <li>・ 三角比の相互関係</li> <li>・ 三角比と座標</li> <li>・ 三角比の性質</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 命題の真偽判定，必要・十分条件，逆・裏・対偶の考え方を理解し，対偶証明法や背理法による証明法を習得する。</li> <li>・ 鋭角と鈍角の三角比の定義や性質，相互関係を確認する。三角方程式や不等式についても解説し，数学Ⅱで扱う三角関数についても触れる。</li> </ul>	定期考査 授業での 行動観察 問題集(テキスト) 小テスト 課題プリント など

10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・正弦定理</li> <li>・余弦定理</li> <li>・三角形の面積</li> <li>・空間図形への応用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正弦定理，余弦定理，三角形の面積の公式と活用法を確認する。さらに，三角形の形状決定問題や空間図形への応用などについても解説する。</li> </ul>	
		(中間考査)		
	6 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数え上げの原則</li> <li>・順列</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場合の数の数え上げ方や順列，階乗の計算について確認する。円順列，じゅず順列，重複順列や複合問題についても解説する。</li> <li>・組合せの計算を確認する。また，同じものを含む順列や組分け問題なども考察する。</li> </ul>	定期考査 授業での 行動観察 問題集(テキスト) 小テスト 課題プリント など
11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合せ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率の概念と基本的な求め方や性質を確認する。余事象を含め，順列・組合せを利用した多少複雑な事象についても解説する。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象と確率</li> <li>・確率の基本性質</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独立試行，反復試行の確率や条件付き確率について確認する。点の移動や原因の確率の問題など，それらを活用した問題も扱う。</li> </ul>	
12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・独立な試行の確率</li> <li>・反復試行の確率</li> <li>・条件付き確率</li> </ul>		
		(期末考査)		
1	5 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データの整理</li> <li>・データの代表値</li> <li>・データの散らばり</li> <li>・相関</li> <li>・相関係数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・度数分布や代表値，四分位数，分散と標準偏差について確認する。箱ひげ図とヒストグラムの関連などにも触れる。</li> <li>・相関の概念や相関係数を理解し，2変量の相関を調べられるようにする。</li> </ul>	定期考査 授業での 行動観察 問題集(テキスト) 小テスト 課題プリント など
		(学年末考査)		

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	数と式，集合と論証，2次関数，図形と計量，データの分析及び場合の数と確率における考え方に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。
数学的な見方や考え方	数と式，集合と論証，2次関数，図形と計量，データの分析及び場合の数と確率において，事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り，多面的・発展的に考えることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。
数学的な技能	数と式，集合と論証，2次関数，図形と計量，データの分析及び場合の数と確率において，事象を数学的に表現・処理するやり方や推論の方法などの技能を身に付けている。
知識・理解	数と式，集合と論証，2次関数，図形と計量，データの分析及び場合の数と確率における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度，数学的な見方や考え方，数学的な技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ

(確かな学力を身につけるためのアドバイス，授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<p>数学研究は、ただ1，2年生の授業をやり直す科目ではありません。数学Iと数学Aをより深く、幅広く学ぶ科目です。ですから、基礎的な問題や計算練習には多くの時間はとりません。それは自主的に学習して、自らできるように努力してもらいます。授業では基礎知識を活用する問題(いわゆる応用問題)を中心に解説します。入試問題も扱いますし、数学IIの内容も活かしていきます。しかし、みなさんの前向きに取り組む姿勢とがんばる気持ちがあれば、十分にできるようになりますし、達成感も味わえます。<u>あきらめずに向き合い続ける</u>ことが何より大切！1年間を通じて、日々努力を積み重ねてくれることを期待しています。</p>
--

## 令和4年度 理科「物理」シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 27、3組
教科書	改訂 物理 (東京書籍)	副教材等	改訂 スタディノート物理 (第一学習社)

### 1 学習の到達目標

<p>日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高める。          目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てる。          物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。</p>
--

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1編 さまざまな運動 2章 平面上の運動と放物運動	1 平面上の運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面内を運動する物体の運動について理解する。</li> <li>・平面内の運動を表す変位、速度、加速度を理解する。</li> <li>・斜方投射された物体の運動について理解する。</li> <li>・(観察実験) 2物体の空中同時落下衝突</li> </ul>	ワークシート分析 ワークシート分析 小テスト 行動観察
		2 放物運動		
5	1章 剛体にはたらく力のつり合い 5章 運動量	1 力のモーメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・剛体の回転運動と力のモーメントについて理解する。</li> <li>・剛体のつり合いの条件と重心について理解する。</li> </ul>	ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
		2 剛体のつり合い		
		1 運動量と力積 2 運動量保存の法則 3 反発係数 中間考査		
6	3章 円運動と万有引力	1 円運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円運動をする物体の様子を表す方法やその物体に働く力などについて理解する。</li> <li>・(実験) 円運動の周期</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析 実験レポート分析 ワークシート分析
		2 万有引力		
7	6章 気体分子の運動と圧力 7章 気体の状態変化	1 気体の性質 2 気体分子の熱運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイル・シャルルの法則を理解する。</li> <li>・気体の熱力学的現象をミクロな視点で解析する。</li> </ul>	ワークシート分析 ワークシート分析
		1 気体の状態変化 2 熱機関 期末考査		
9	2編 波 1章 波の性質 2章 音	1 波の表し方 2 波の伝わり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・波の伝わり方とその表し方について理解する。</li> <li>・波の干渉と回折について理解する。</li> </ul>	行動観察 ワークシート分析 ワークシート分析
		1 音の性質 2 ドップラー効果		
10	3章 光	1 光の伝わり方 2 光の回折と干渉 中間考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光の反射、屈折、分散、偏光、速さ、波長などについて、観察、実験を通して理解する。</li> <li>・光の回折と干渉について理解する。</li> </ul> 教科書 p 158～228	ワークシート分析 行動観察 ワークシート分析
		1 静電気 2 電場 3 電位		
11	3編 電気と磁気 1章 電場と電位	1 静電気 2 電場 3 電位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電荷が相互に及ぼし合う力や電場の表し方について理解する。</li> <li>・電場と電位の関係について理解する。</li> <li>・電場中の物体の様子やその内外の電場について理解する。</li> </ul>	ワークシート分析 ワークシート分析 ワークシート分析
		2 電流		
12	2章 電流 3章 電流と磁場	1 直流回路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直線電流のまわり、円形電流の中心、ソレノイドの内部にできる磁場について理解する。</li> <li>・電流が磁場から受ける力について理解を深める。</li> <li>・電流が磁場から受ける力を表す式やローレンツ力について理解する。</li> </ul> 教科書 p 237～305	ワークシート分析 行動観察 ワークシート分析 ワークシート分析
		1 電流のつくる磁場 2 電流が磁場から受ける力 期末考査		

1	4章 電磁誘導と電磁波	1 電磁誘導の法則  学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校での学習を発展させ、電磁誘導について理解を深める。</li> <li>・コイルを貫く磁束が変化するとき及び導線が磁束を横切るときに生じる誘導起電力、うず電流、交流発電機の仕組みなどについて理解する。</li> </ul> 教科書 p 307～329	行動観察 ワークシート分析 ワークシート分析
---	-------------	------------------------	---	------------------------------

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
思考・判断・表現	物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

現象と式、式と現象を結びつける論理的思考と一緒に身につけていきましょう。 まわりの人と協力して難しいことを理解しようとする姿勢や、あきらめない気持ちが大切です。 復習を必ず行いましょう。  持ち物 教科書・副教材（改訂スタディノート物理）・ファイル
---

## 令和4年度 「化学」シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	普通 科 3年 2,3,7組
教科書	改訂 新編 化学 (東京書籍)	副教材等	改訂 スタディノート化学 (第一学習社)

### 1 学習の到達目標

化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

- ・物質とその変化について、化学的な解釈や説明ができることを通して、興味・関心を探究心にまで高め、知的好奇心をもって問題を見だし、主体的に解決しようとする意欲を高める。
- ・生徒自身が課題を見つけ、主体的・意欲的に観察、実験などに取り組む。
- ・探究の過程をたどらせることによって、科学の方法を習得させ、化学的に探究する能力や態度を育てる。
- ・化学的な事物・現象に関する基礎的な知識および基本的な概念や原理・法則を、深く系統的に理解させる。
- ・物質やその変化に関する原理・法則を系統的に理解し、正しい物質感を身に付けさせ、他の科目とも関連させて、自然界の事物・現象を分析的、総合的に考察する能力を育成する。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第Ⅰ章 物質の状態	第2節 物質の三態と熱運動	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 化学基礎で学習した物質の三態について、粒子の熱運動と関連させて理解する。</li> <li>② ボイルの法則、シャルルの法則について理解し、気体の体積温度、圧力との関連性をとらえる。</li> <li>③ 気体の状態方程式を用いることで、気体の体積や圧力、分子量などが求められることを理解する。</li> <li>④ 溶液の性質について理解する。</li> <li>⑤ 固体や気体の溶解度が温度によって変化することを理解し、気体においては圧力によっても変化することを理解する。</li> <li>⑥ コロイドについて、チンダル現象やブラウン運動など、コロイド溶液が示す特性について理解する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ノート提出</li> <li>・実験報告書</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>
5		第3節 気体の性質		
5		第4節 溶液の性質		
中間考査				
6	第Ⅱ章 物質の変化と平衡	第1節 物質とエネルギー	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 化学反応や状態変化には熱の出入りが伴い、それは変化の前後での物質のエネルギー差であることを理解する。また反応熱の定義、熱化学方程式の表記を理解する。</li> <li>② ヘスの法則について理解し、実測困難な反応熱を計算によって求める。</li> <li>③ 酸化還元反応を利用して電流を生み出す電池について理解する。</li> <li>④ 水溶液の電気分解について、陰極陽極の反応からとらえる。</li> <li>⑤ 化学反応の速さは反応ごとに異なることを認識し、反応速度の定義、反応速度式について理解する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ノート提出</li> <li>・実験報告書</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>
6		第2節 電池と電気分解		
7		第3節 化学反応の速さ		
期末考査				
9	第Ⅱ章 物質の変化と平衡	第4節 化学平衡	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 可逆反応と不可逆反応、化学平衡について理解する。</li> <li>② ルシャトリエの原理から化学反応の方向性について説明できる。</li> <li>③ 実験に基づいて平行移動が起こることを理解する。</li> <li>④ 化学平衡の法則と平衡定数について理解する。</li> <li>⑤ 電離平衡について、電離定数や水のイオン積を理解し、水溶液中の水素イオン濃度やpHの求め方を理解する。また、緩衝液、難溶性塩の溶解度積についても理解する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ノート提出</li> <li>・実験報告書</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>
10		第5節 電離平衡		
中間考査				

11	第III章 無機物質	第1節 非金属元素の単体と化合物	① 宇宙を構成する成分元素について学習するとともに化学基礎で学習した内容を復習する。 ② 水素、希ガス、ハロゲン、酸素・硫黄、窒素・リン、炭素・ケイ素の単体と化合物について製法や性質を理解する。 ③ アルカリ金属やアルカリ土類金属の単体や化合物について化学的性質について理解する。 ④ 両性元素について性質や用途について理解する。 ⑤ 遷移元素について、身の回りで利用が多い元素を中心に、その単体と化合物の製法、性質について理解する。 ⑥ 身の回りで利用されている金属について正しくとらえる。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・実験報告書 ・小テスト ・定期考査・
		第2節 典型金属元素の単体と化合物		
12		第3節 遷移元素の単体と化合物		
		第4節 無機物質と人間生活		
		期末考査		
1	第IV章 有機化合物	第1節 有機化合物の特徴と分類	① 有機化合物が炭素原子を骨格とすること、またその分類は炭素原子の結合様式や官能基による分類に基づいて体系的に学べることを理解する。 ② 示性式の書き方を習得する。 ③ 構造異性体について学習し、官能基によって構造式が決定できることを理解する。 ④ アルカン、アルケン、アルキンについて構造、性質、反応性について詳しく学ぶ。 ⑤ アルコール、アルデヒド、カルボン酸の定義、名称、分類、脂質、反応性について理解する。 ⑥ エステルと油脂について定義、名称、分類、脂質、反応性について理解する。 ⑦ 芳香族炭化水素のうちフェノール類、芳香族カルボン酸、芳香族ニトロ化合物、芳香族アミンの定義、名称、分類、脂質、反応性について理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・ノート提出 ・実験報告書 ・小テスト ・定期考査・
	第2節 脂肪族炭化水素			
	第3節 酸素を含む脂肪族化合物			
	第4節 芳香族化合物			
	第5節 有機化合物と人間生活			
		学年末考査		

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。 具体的には、授業態度・発問評価・ノート提出・実験報告書・小テスト・定期考査について総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

授業では危険な薬品や操作もあります。自分の身を守るためにも、担当者の説明をきちんと聞くことです。 授業内容は新しいですが、実は化学基礎で学んだことで説明できることが多いです。復習を大事にして臨んでください。
--

## 令和4年度 「生物」シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 3年 1～7組
教科書	スタンダード 生物 (東京書籍)	副教材等	改訂 スタディノート生物 (第一学習社)

### 1 学習の到達目標

生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	1編 生命現象と物質	1 生体物質と細胞 2 真核細胞内の構造とそのはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞を構成する物質の性質や細胞小器官のしくみを学ぶ。</li> </ul>	行動観察 ワークシート ワークシート
	1章 生体物質と細胞	1 タンパク質の構造とはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>タンパク質が生物活動を実行することを自分の体で起こる現象と結びつけつつ学ぶ。</li> <li>(実習) 顕微鏡観察、酵素反応</li> <li>光合成や呼吸などの流れを学ぶ。</li> </ul>	
	2章 生命現象を支えるタンパク質	2 酵素としてはたらくタンパク質 3 輸送や情報伝達にかかわるタンパク質 4 免疫に関わるタンパク質 5 細胞接着に関わるタンパク質		
	3章 代謝とエネルギー	1 エネルギー変化と化学反応 2 呼吸 3 発酵と回答 4 光合成 5 窒素同化と窒素固定		
5	2編 遺伝子のはたらき	1 DNAの構造と方向性 2 DNAの複製	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNAの構造、複製について学ぶ。</li> <li>(実習) 顕微鏡観察、DNA 模型組み立て</li> </ul>	行動観察 ワークシート
	1章 DNAの構造と複製	<b>中間考査</b> 1 遺伝情報の流れ	<b>教科書 p 7～76</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>転写、翻訳、それでできたタンパク質による形質の発現、突然変異、および発現の調節について学ぶ。</li> <li>バイオテクノロジーの基本的な技術やその利用、可能性、危険性について学ぶ。</li> </ul>	
	2章 遺伝情報の発現	2 タンパク質の合成の第1段階 3 タンパク質合成の第2段階 4 遺伝情報の変化		
	3章 遺伝子の発現調節	1 転写開始の調節 2 遺伝子発現の調節		
6	4章 バイオテクノロジー	1 目的の遺伝子を増やす 2 遺伝子の情報を解読する 3 遺伝子を細胞内に導入する 4 バイオテクノロジーの課題		
	3編 生殖と発生	1 有性生殖と染色体	<ul style="list-style-type: none"> <li>減数分裂と受精により、遺伝子や染色体の多様な受け継ぎができることを学ぶ。</li> <li>配偶子の形成過程や配偶子の構造そして受精の過程について学ぶ。</li> <li>ウニやカエルの発生過程、胚の構造、各胚葉からの器官の分化の流れを学ぶ。</li> <li>いくつかの調節遺伝子群が段階的に発現することで発生が進むことを学ぶ。</li> <li>発生にはプログラムされた細胞死が組み込まれていることを学ぶ。</li> </ul>	
	1章 多様な個体が生じる有性生殖	2 多様性を生じる減数分裂 3 遺伝子と染色体		
2章動物の発生	1 精子と卵の形成と融合 2 発生の進み方			
7	3章動物の発生のしくみ	1 動物の体軸と軸形成 2 胚の細胞の分化と器官形成 3 動物の形を決める遺伝子 4 発生研究の成果と応用		
		<b>期末考査</b>	<b>教科書 p 78～148</b>	
9	4章植物の発生	1 被子植物の生殖と発生 2 花の形態形成のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の配偶子形成～受精～発生の過程とそのしくみを学び、動物との違いを考察する。</li> <li>(実習) 顕微鏡観察</li> <li>動物が外界の刺激を受容し、神経系を介して反応・行動するしくみを学ぶ。</li> </ul>	行動観察 実験レポート
	4編生物の環境応答 1章動物の刺激の受容と反応	1 刺激の受容から反応へ 2 興奮の電動と伝達 3 光・音・平衡感覚の受容のしくみ		



10	2章動物の行動 3章植物の環境応答	4中枢神経での情報処理 5効果器としての骨格筋 1動物の行動をめぐる4つの「なぜ」  2動物の行動の例 <u>中間考査</u> 1植物の一生にかかわる環境応答 2環境要因による発芽の調節 3栄養成長の調節 4気孔の開閉の調節 5花芽形成の調節 6葉の廊下の調節と紅葉・落葉のしくみ 7ストレスに対する植物の応答	・(実習)顕微鏡観察、解剖、盲斑の検出と大きさの推定  <u>教科書p150～194</u> ・個体群とその変動および内部の相互作用について学ぶ ・植物の環境の変化に対する応答には各種ホルモンが働いていることを学ぶ。	行動観察 ワークシート
11	5編生態と環境 1章生物の多様性と生態学 2章個体群と生物群集	1生物の多様性を守るために 1個体群と環境 2個体群の構造と成長 1個体間の相互作用 2個体群の構造と成鳥 3個体間の相互作用 4種間の相互作用 5生物群集の成り立ちと多種の共存	・環境の変化を遺伝子発現の変化に結びつけるしくみがあることを学ぶ。 ・生物群集とその内部の相互作用について学・生態系における物質生産とエネルギー効率について学ぶ。 ・生物多様性が健全な環境を支えていることを学ぶ。	
12	3章生態系の物質生産とエネルギーの流れ 4章生態系と生物の多様性	1植物網と物質生産 2生態系の構造とエネルギーの流れ 1生物多様性とその意味 2生物多様性を減少させる要因 3生物多様性の保全と復元 <u>期末考査</u>	<u>教科書p194～277</u>	
1	6編生物の進化と系統 1章生命の起源と生物の変遷 2章進化のしくみ 3章生物の系統	1生命の起源 2地球環境の変化と真核生物の誕生 3生物の変遷 4人類の変遷 1進化 2生物の個体間の変異とその起源 3遺伝子頻度とその変化のしくみ 4種分化 1生物の系統と系統関係の推定 2生物の世界の3ドメイン <u>期末考査</u>	進化のしくみを学ぶ。 ・地球上の生物相がどのように変化してきたのかを学ぶ。  ・生命の起源と生物進化の道筋を学ぶ。 ・生物はその系統に基づいて分類できること、そして代表的な分類群の特徴について学ぶ。 ・(実習)調べ学習と発表。 <u>教科書p277～338</u>	行動観察 ワークシート

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	生物や生物現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けているか。
思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できるか。
観察・実験の技能	観察・実験を行い、基本操作を修得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、生物や生物現象を科学的に探究する技能を身に付けているか。
知識・理解	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

選択生物では、生命現象をDNAとタンパク質のレベルでとらえています。皆さんがこれまで慣れ親しんできた生物とはかけ離れているような印象を持つでしょう。しかし現代の生命化学は、探求活動の蓄積の結果、生物をそのように理解しています。そうであればこそ、応用技術の飛躍的発展も可能になりました。生物の見方が変わりますが、それが面白いともいえます。頑張りましょう。

## 令和4年度 「地学」シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	普通 科 3年1 2 4 5 6 7組 地学選択者
教科書	地学 改訂版(啓林館)	副教材等	なし

### 1 学習の到達目標

地学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1部 固体地球の概観と活動 第1章 地球の概観	1 地球の観測 2 重力で探る地球の内部 3 地震波で探る地球の内部 4 熱で探る地球の内部 5 地磁気で探る地球の内部	・重力の観測、地震波の観測、地殻熱流量の観測、地磁気の観測などから、地球内部の様子がわかることを学ぶ。 ＜実験＞走時曲線の作成	行動観察 ノート分析 ワークシート分析 小テスト
5	第2章 プレートテクトニクス	1 地球表面を覆うプレート 2 プレートテクトニクスの成立 3 プレートテクトニクスとマントルの動き  中間考査	・種々の地学現象を、プレートの生成や移動で統一的に理解しようとするプレートテクトニクスの枠組みについて学び、プレートテクトニクスとマントルの動きについて理解する。  P 1 0～6 8	行動観察 ノート分析 ワークシート分析 小テスト
6	第3章 地球の活動	1 地震 2 地殻変動 3 火山と火成活動 4 造山帯と変成作用	・地震や地殻変動、火山の噴火や火成岩の形成などのさまざまな地球の活動を、プレートの運動と関連させて学ぶ。 ＜実験＞震源の推定 ＜実験＞身近な砂の観察	行動観察 ノート分析 ワークシート分析 小テスト
7	第2部 地球の歴史 第1章 地表の変化と地層	1 地表の変化と堆積物 2 地層の連続とその分布 3 地質時代の組み立て  期末考査	・地層がどのように積み重なり、どのように広がって分布しているか表す地質図について学ぶ。また、造山運動による地質構造や変成岩の形成、地層から情報を読み取って地質時代を組み立てることを学ぶ。 ＜実験＞地球カレンダーの作成  P 6 9～1 5 2	行動観察 ノート分析 ワークシート分析 小テスト
9	第3部 大気と海洋 第1章 大気の構造	1 大気圏 2 雨と雲 3 地球のエネルギー収支	大気中の水が気象に果たしている役割をとらえ、雨や雲の形成について学ぶ。また、地球全体のエネルギー収支について学ぶ。 ＜実験＞大気圏の構造	行動観察 ノート分析 ワークシート分析 小テスト
10	第2章 大気の運動	1 風 2 大気の大循環と世界の気象 3 偏西風帯に位置する日本の四季  中間考査	風の吹き方と大気の大循環について学び、世界と日本の気候に結びつけて理解する。 ＜実験＞天気図の作成  P 2 2 0～2 7 4	行動観察 ノート分析 ワークシート分析 小テスト
11	第3章 海洋と海水の運動	1 海洋 2 海水の運動	地球環境の形成や維持に大きな役割を果たしている海洋の構造と、海流や深層循環などの海洋の循環、津波や潮汐などの海水の運動について学ぶ。	行動観察 ノート分析 ワークシート分析 小テスト

12	第4部 宇宙の構造 第1章 太陽系の天体	1 地球の運動 2 惑星の運動 3 太陽系の天体 4 太陽  期末考査	太陽系の天体の運動と特徴について学び、太陽系の中で唯一の恒星である太陽について学ぶ。 <調べ学習>惑星について調べ、発表する。  P 275～351	行動観察 ノート分析 ワークシート分析 小テスト
1	第2章 恒星の性質と進化	1 恒星の光 2 恒星の性質とHR図 3 恒星の誕生と進化	遠く離れた恒星の性質について、恒星からの光を調べることで明らかにされてきたことを学ぶ。 <実験>様々な光を観察しよう	行動観察 ノート分析 ワークシート分析 小テスト
2	第3章 銀河系と宇宙	1 銀河系 2 銀河と宇宙 3 膨張する宇宙  学年末考査	恒星と星間物質の大集団である銀河系や遠くの銀河などの天体について学び、宇宙の構造や膨張について学ぶ。また、それが天体観測技術の発達によって次第に可能になっていったことを学ぶ。  P 352～404	行動観察 ノート分析 ワークシート分析 小テスト

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断・表現	地学的な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。
観察・実験の技能	地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。
知識・理解	観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える態度をもつこと。</li> <li>疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。</li> <li>定期考査ごとに、ノートの点検を行います。文字はていねいに書き、授業内容を適切にまとめておくこと。</li> <li>常に学ぼうとする意識を持ち、授業に臨むこと。</li> </ul>
---

## 令和4年度 「 理科研究α 」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	3年普通科 選択者
教科書	高等学校 改訂 地学基礎 (啓林館) 高等学校 改訂 新化学基礎 (第一学習社)	副教材等	なし

### 1 学習の到達目標

<p>基礎的な科学の知識を身につけ、基本的な科学的概念や原理を学び、自分の言葉で現象を表現する。 また自然現象を科学の立場から理解し、実際の現象を実験し観察することによって直に触れ、より一層の理解を深める。</p>
---

### 2 学習の計画

月	単元名・学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	固体地球とその変動 第1章 地球 第2章 活動する地球  移り変わる地球 第1章 地球史の読み方 第2章 地球と生命の進化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球の概観について理解する。</li> <li>・プレートテクトニクスと地球の活動について理解する。</li> <li>・堆積岩とその形成について理解する。</li> <li>・地球史について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ノート提出</li> <li>・実験報告書</li> <li>・小テスト</li> <li>・発表</li> </ul>
5	大気と海洋 第1章 大気と気候 第2章 太陽放射と大気・海水の運動 第3章 日本の天気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気圏について理解する。</li> <li>・地球のエネルギー収支について理解する。</li> <li>・日本の天気について理解する。</li> </ul>	
6		実験・観察を通したり、理論的推測から性質を推測する。 推測したことを自分の言葉で表現し、他人の表現も聞きながら表現の仕方について学ぶ	
7	宇宙の構成 第1章 太陽系と太陽 第2章 恒星としての太陽の進化 第3章 銀河系と宇宙  自然との共生 第1節 地球環境と人類 第2節 火山・地震災害と社会 第3節 気象災害と社会 第4節 人間生活と地球環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽系の天体について学ぶ。</li> <li>・太陽の進化について理解する。</li> <li>・銀河系と周りの銀河について理解する。</li> <li>実験を通したり、理論的推測から性質を推測する。 推測したことを自分の言葉で表現し、他人の表現も聞きながら表現の仕方について学ぶ</li> <li>・さまざまな災害について学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・ノート提出</li> <li>・実験報告書</li> <li>・小テスト</li> <li>・発表</li> </ul>
9	① 課題研究発表 (プレゼンテーション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた課題について、個人またはグループで調査し、発表する。</li> <li>発表材料の作成を通して表現の手法について学ぶ</li> <li>発表する、発表を聞く活動を通して効果的な発表表現方法について学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度</li> <li>・発問評価</li> <li>・発表</li> </ul>
10	I章 物質の構成 第1節 物質とその構成要素 第2節 物質と化学結合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質を分類することができ、物質の成り立ちを理解することができる。</li> </ul>	

11	第II章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式 第2節 酸・塩基とその反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質と化学反応式について理解する。</li> <li>酸塩基について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ノート提出</li> <li>小テスト</li> <li>発表</li> </ul>
12	第3節 酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸化還元反応について理解する</li> <li>実験・観察を通したり、理論から推測から性質を推測する</li> <li>推測したことを自分の言葉で表現し、他人の表現も聞きながら表現の仕方について学ぶ</li> </ul>	
1	② 課題研究発表 (プレゼンテーション)	<ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた課題について、個人またはグループで調査し、発表する。</li> <li>発表資料の作成を通して表現の手法について学ぶ</li> <li>発表する、発表を聞く活動を通して効果的な発表表現方法について学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>発表</li> </ul>

### 3 評面の観点

関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

### 4 評面の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

地学基礎 化学基礎で十分に実験を行うことができなかったと思います。復習を兼ねながら実験を行い、深い理解が得られるように学習していきましょう。
--

## 令和4年度 「理科研究β」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科3年 237組
教科書	改訂 新編 化学（東京書籍） 改訂 物理（東京書籍） スタンダード 生物（東京書籍）	副教材等	

### 1 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を考えながら化学・物理・生物への関心を高める。基本的な概念や原理・法則を理解し、活用することで科学的な見方や考え方を身につける。

### 2 学習の計画

月	単元名・学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	化学(共通) 第Ⅰ章 物質の状態 第2節～第4節  物理(選択) 第1編 ささまざまな運動 2章、1章、5章  生物(選択) 1編 生命現象と物質 1章～3章 2編 遺伝子のはたらき 1章	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学の授業で学習した内容に関する問題演習に取り組む。</li> <li>物質の三態と熱運動と気体の性質、溶液の性質に関する基本～応用問題を解き、理解を深める。</li> <li>物理の授業で学習した内容に関する問題演習に取り組む。</li> <li>平面上の運動と放物運動、剛体にはたらく力のつり合い、運動量に関する基本～応用問題を解き、理解を深める。</li> <li>生物の授業で学習した内容に関する問題演習に取り組む。</li> <li>生体物質と細胞、生命現象を支えるタンパク質、代謝とエネルギー、DNAの構造と複製に関する基本～応用問題を解くことで理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ノート提出</li> <li>実験報告書</li> <li>小テスト</li> <li>発表</li> </ul>
6	化学(共通) 第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第1節～第3節  物理(選択) 第1編 ささまざまな運動 3章、6章、7章	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学の授業で学習した内容に関する問題演習に取り組む。</li> <li>物質とエネルギー、電池と電気分解、化学反応の速さに関する基本～応用問題を解き、理解を深める。</li> <li>物理の授業で学習した内容に関する問題演習に取り組む。</li> <li>円運動、万有引力、気体の性質、気体分子の熱運動、気体の状態変化、熱機関に関する基本～応用問題を解き、理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ノート提出</li> <li>実験報告書</li> <li>小テスト</li> <li>発表</li> </ul>
7	生物(選択) 2編 遺伝子のはたらき 2章～4章 3編 生殖と発生 1章～3章	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の授業で学習した内容に関する問題演習に取り組む。</li> <li>遺伝情報の発現、遺伝子の発現調節、バイオテクノロジー、多様な個体が生じる有性生殖、動物の発生に関する基本～応用問題を解くことで理解を深める。</li> </ul>	
9	化学(選択) 第Ⅱ章 物質の変化と平衡 第4節～第5節  物理(選択) 第2編 波 1章～3章	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学の授業で学習した内容に関する問題演習に取り組む。</li> <li>化学平衡、電離平衡に関する基本～応用問題を解き、理解を深める。</li> <li>物理の授業で学習した内容に関する問題演習に取り組む。</li> <li>波の表し方、音の性質、ドップラー効果、光の性質に関する基本～応用問題を解き、理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ノート提出</li> <li>実験報告書</li> <li>小テスト</li> <li>発表</li> </ul>
10	生物(選択) 3編 生殖と発生 4章 4編 生物の環境応答 1章～2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の授業で学習した内容に関する問題演習に取り組む。</li> <li>動物の刺激の受容と反応、動物の行動に関する基本～応用問題を解くことで理解を深める。</li> </ul>	

11	化学(選択) 第三章 無機物質 第1節～第4節	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学の授業で学習した内容に関する問題演習に取り組む。</li> <li>非金属元素の単体と化合物、典型金属元素の単体と化合物、遷移元素の単体と化合物、無機物質と人間生活に関する基本～応用問題を解き、理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ノート提出</li> <li>実験報告書</li> <li>小テスト</li> <li>発表</li> </ul>
	物理(選択) 3編 電気と磁気 1章～3章	<ul style="list-style-type: none"> <li>物理の授業で学習した内容に関する問題演習に取り組む。</li> <li>電場と電位、電流、電流と磁場に関する基本～応用問題を解き、理解を深める。</li> </ul>	
12	生物(選択) 4編 生物の環境応答 3章	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の授業で学習した内容に関する問題演習に取り組む。</li> <li>植物の環境応答、生物の多様性と生態学、体群と生物群集、生態系の物質生産とエネルギーの流れ、生態系と生物の多様性に関する基本～応用問題を解くことで理解を深める。</li> </ul>	
	5編 生態と環境 1章～4章		
1	化学(選択) 第四章 有機化合物 第1節～第5節	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学の授業で学習した内容に関する問題演習に取り組む。</li> <li>有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物、有機化合物と人間生活に関する基本～応用問題を解き、理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業態度</li> <li>発問評価</li> <li>ノート提出</li> <li>実験報告書</li> <li>小テスト</li> <li>発表</li> </ul>
	物理(選択) 第2編 波 1章～3章	<ul style="list-style-type: none"> <li>物理の授業で学習した内容に関する問題演習に取り組む。</li> <li>電磁誘導と電磁波に関する基本～応用問題を解きを解くことで理解を深める。</li> </ul>	
	生物(選択) 6編 生物の進化と系統 1章～3章	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の授業で学習した内容に関する問題演習に取り組む。</li> <li>生命の起源と生物の変遷、進化のしくみ、生物の系統に関する基本～応用問題を解くことで理解を深める。</li> </ul>	

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

化学・物理・生物の授業で学んだことを活かし、さまざまな問題に挑戦しましょう。  
積極的に学び、わからないことをわかるようにするための工夫や、科学的な思考力・理解力を身につけましょう。

令和4年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「 体育 」

単位数	3	学科・学年・学級	普通科 3年 1～7組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	

1. 学習の到達目標

<p>①集団の合意形成に貢献しながら、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たすことができる。</p> <p>②グループで活動する場面で、状況に応じた自己や仲間の役割を見つけることができる。</p> <p>③競技の本質をとらえた動きを身につけ、正規のルールに近づけた試合をすることができる。</p> <p>④競技会の仕方や審判の方法について理解できる。</p>
---

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	体育理論	体育理論（三学年次）	<ul style="list-style-type: none"> <li>各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方</li> <li>ライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育理論新聞</li> </ul>
	陸上競技	陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> <li>立ち幅跳び</li> <li>ハンドボール投</li> <li>50m走（タイムトライアル）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録計測</li> <li>記録計測</li> <li>記録計測</li> </ul>
5	球技 ①～④から1種目選択します。	①サッカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボールを使ったウォーミングアップ（リフティング・3対1）</li> <li>チーム練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキルテスト</li> <li>行動観察</li> </ul>
6			<ul style="list-style-type: none"> <li>リーグ戦の運営についての話し合い</li> <li>戦術についての話し合い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>学習カード分析</li> </ul>
7			<ul style="list-style-type: none"> <li>リーグ戦</li> <li>学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>学習カード分析</li> </ul>
5			②テニス	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラリーによるウォーミングアップ</li> <li>基本的な個人技術（サービス、ストローク、ドロップ、ボレー）</li> </ul>
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>実践練習（シングルス、ダブルス）</li> <li>戦術およびリーグ戦の運営についての話し合い</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> </ul>
7		<ul style="list-style-type: none"> <li>リーグ戦</li> <li>学習の振り返り</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>学習カード分析</li> </ul>
5		③バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラリーによるウォーミングアップ</li> <li>基本的な個人技術（サーブ、ハイクリア、ドロップ、ヘアピン、スマッシュ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>スキルテスト</li> </ul>
6			<ul style="list-style-type: none"> <li>実践練習（シングルス、ダブルス）</li> <li>戦術およびリーグ戦の運営についての話し合い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>行動観察</li> </ul>
7			<ul style="list-style-type: none"> <li>リーグ戦</li> <li>学習の振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>学習カード分析</li> </ul>
5			④バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボールを使ったウォーミングアップ</li> <li>チーム練習</li> </ul>
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>競技会の仕方についての話し合い</li> <li>作戦についての話し合い</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>学習カード分析</li> </ul>
7		<ul style="list-style-type: none"> <li>競技会</li> <li>学習の振り返り</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>学習カード分析</li> </ul>



	体育理論	体育理論（三学年次）	・スポーツ振興のための施策と諸条件 ・スポーツと環境	・体育理論新聞
9	体づくり運動	体づくり運動 長縄	・試しの長縄跳び ・クラスの課題発見 ・目標設定 ・協力して課題解決 ・体育祭に向けての作戦 ・体力の限界に挑戦する	・記録計測 ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析 ・行動観察 ・行動観察
10 11 12	球技 ①～④から前期と別の1種目選択します。	サッカー	・ボールを使ったウォーミングアップ（リフティング・3対1） ・チーム練習 ・リーグ戦の運営についての話し合い ・戦術についての話し合い	・スキルテスト ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析
10 11 12		ソフトボール	キャッチボール トスバッティング 守備練習（シートノック） 打撃練習（実践打撃）	・行動観察 ・行動観察 ・スキルテスト ・スキルテスト
10 11 12		バレーボール	・ボールを使ったウォーミングアップ（直上パス・3段攻撃） ・チーム練習 ・リーグ戦の運営についての話し合い ・戦術についての話し合い	・スキルテスト ・行動観察 ・行動観察 ・学習カード分析
10 11 12		バドミントン	・ラリーによるウォーミングアップ ・基本的な個人技術（サーブ、ハイクリア、ドロップ、ヘアピン、スマッシュ） ・実践練習（シングルス、ダブルス） ・戦術およびリーグ戦の運営についての話し合い	・行動観察 ・スキルテスト ・行動観察 ・学習カード分析

### 3. 評価の観点

関心・意欲・態度	自らの健康・安全を確保し、学習に自主的に取り組もうとしている。
思考・判断	自己の課題に応じ、運動の行い方の改善すべきポイント見つけて適切な練習方法を選ぼうとしている。
運動の技能	中学時代に身につけた技能や動きをより高め、運動の特性に応じた、種目特有の技能を身につけることができる。
知識・理解	技術の名称や行い方、体力の高め方について言ったり書いたりしている。

### 4. 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断、運動の技能及び知識理解の4観点から総合的に評価する。
---

### 5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<p>①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。</p> <p>②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。</p> <p>③時間を守り集合・整列してください。</p> <p>④自ら学ぶことが上達のポイントです。積極的に体を動かしましょう。</p>
---

令和4年度神戸市立立神戸高等学校 保健体育「 スポーツ理論 」

単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年1・2・3・5組 国際人文科 3年8組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	現代高等保健体育ノート（大修館書店）

1. 学習の到達目標

①スポーツや健康に関する総合的な理解を通じて、生涯にわたって「する・みる・支える・調べる」等の多様な関わり方について考察しながらスポーツや健康の発展に寄与できる資質や能力を育てる。
②生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、取り組みを工夫することができる。
③ スポーツや健康について生理学、心理学、力学、栄養学、コーチング学、トレーニング学、スポーツ医学、障害者スポーツ、スポーツ共創等の知識や理論を学びながら実習または発表活動を行う。

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5 6	オリエンテーション 運動・スポーツの学び方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツにおける技術と戦術</li> <li>・技能の上達過程と練習</li> <li>・効果的な動きのメカニズム</li> <li>・技能と体力</li> <li>・体カトレーニング</li> <li>・運動やスポーツでの安全の確保</li> </ul>	<p>技術と技能の違い、戦術と作戦と戦略の違いについて理解する。</p> <p>技能の上達過程と効果的な練習方法について理解する。</p> <p>効果的な動きの開始と持続、コントロールについて理解する。</p> <p>運動・スポーツにおける技能と体力の関係について理解する。</p> <p>体カトレーニングの基礎理論と進め方に関して理解する。</p> <p>運動やスポーツの怪我の実態や行う際の注意点を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート分析、発表活動</li> </ul>
7	学習の振り返り・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートの作成</li> </ul>	<p>レポートを作成し、提出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート分析</li> </ul>
9 10 11	運動・スポーツの文化的特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間にとって「動く」とは何か</li> <li>・スポーツの始まりと変遷</li> <li>・文化としてのスポーツ</li> <li>・オリンピックと国際理解</li> <li>・スポーツと経済</li> <li>・ドーピングとスポーツ倫理</li> <li>・スポーツ共創</li> </ul>	<p>人間にとっての運動の意味、動きの工夫と文化について理解する。</p> <p>スポーツの始まりと発展、近代スポーツ、国際スポーツについて理解する。</p> <p>スポーツ文化の変容とメディアについて理解する。</p> <p>オリビズムとオリンピックムーブメント、オリンピックの変貌について理解する。</p> <p>スポーツの経済波及効果と拡大するスポーツ産業について理解する。</p> <p>ドーピングとスポーツ倫理について理解する。</p> <p>グループになりスポーツを創り、概要を発表し共有する。</p> <p>それぞれのグループで創ったスポーツを実践してみる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート分析、発表活動</li> </ul>
12	学習の振り返り・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KP法</li> </ul>	<p>1学期の活動で学んだことをKP法でまとめて発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート分析、発表活動</li> </ul>
1 2 3	豊かなスポーツライフの設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯スポーツの見方・考え方</li> <li>・ライフスタイルに応じたスポーツ</li> <li>・日本のスポーツ振興</li> <li>・スポーツと環境</li> </ul>	<p>社会の変化とスポーツの役割、ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方について理解する。</p> <p>いろいろなスポーツライフスタイル、豊かなスポーツライフの設計について理解する。</p> <p>日本のスポーツ振興の歩み、地域とスポーツクラブについて理解する。</p> <p>スポーツと環境問題、環境保護について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート分析、発表活動</li> </ul>
	学習の振り返り・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートの作成</li> </ul>	<p>レポートを作成し、提出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート分析</li> </ul>

3. 評価の観点

関心・意欲・態度	生涯に通じて健康の保持増進やそれを支えるスポーツ環境作りを目指し、その解決を目指した活動を通して、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が身についている。
思考・判断	スポーツや健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力が身についている。
運動の技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
知識・理解	スポーツや健康に関する理論や実践例について言ったり書いたりしている。

#### 4. 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断、運動の技能及び知識理解の4観点から総合的に評価する。

#### 5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身に着けるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。

②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。

③時間を守り集合・整列してください。

④「スポーツ理論」の目的や意味をそれぞれ考え、「体育」とは異なる視点で授業に参画しましょう。

令和4年度松戸市立松戸高等学校 保健体育「生涯スポーツ」

単位数	2	学科・学年・学級	普通科 3年 1～7組
教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)	副教材	

1. 学習の到達目標

<p>①運動の楽しさや喜びを深く味わい、ルールやマナーを大切に活動できる。</p> <p>②生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、取り組みを工夫することができる。</p> <p>③高度な技能を身につけ、勝敗を競ったり攻防を展開したりすることができる。</p> <p>④授業の企画や実際に運営するに当たっての方法について理解できる。</p>
---

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	生涯スポーツ	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の目標や内容、注意点を理解し、自分の運動欲求を満たすだけでなく、全員が安全に楽しめるように企画運営していくことを学ぶ。</li> <li>・知っている者同士でグループにならず、だれとでもコミュニケーションをとれるようにグループ分けをする。</li> <li>・男女でわかれるので、活動場所が重ならないように年間の予定種目決定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・行動観察</li> <li>・ワークシート (班分け表) 分析</li> <li>・ワークシート (年間予定表) 分析</li> </ul>
5			<p>《企画班》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画表を作成し、準備する用具、企画班の役割分担、1時間の授業の流れ等を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート分析 (企画表) 分析</li> </ul>
6			<p>《実際に運営》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用具の準備、準備運動を行う。</li> <li>・補助トレーニングを運営する。</li> <li>・ミニスポーツ大会を実施し、結果発表する。</li> </ul> <p>《企画班以外》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画班の運営に従い、安全に気を付け、コミュニケーションをとりながら公正にスポーツを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・行動観察</li> <li>・大会の行動観察</li> </ul>
7		種目を考え、選択する	<p>《全員》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人カードを毎回記録する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート分析</li> </ul>
9			<p>女子</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭でダンス発表をするための、生徒会にかかわる手続きを行う。</li> <li>・文化祭でダンスを発表する。(女子)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動分析</li> <li>・発表演技</li> </ul>

10			≪企画班≫ ・企画表を作成し、準備する用具、企画班の役割分担、1時間の授業の流れ等を考える。	・ワークシート分析（企画表）分析
11			≪実際に運営≫ ・用具の準備、準備運動を行う。 ・補助トレーニングを運営する。 ・ミニスポーツ大会を実施し、結果発表する。	・行動観察 ・行動観察 ・大会の行動観察
		種目を考え、選択する	≪企画班以外≫ ・企画班の運営に従い、安全に気を付け、コミュニケーションをとりながら公正にスポーツを楽しむ。	・行動観察
			≪全員≫ ・個人カードを毎回記録する。	・レポート分析
1			≪全員≫ ・個人カードを毎回記録するとともに、1年間の振り返る。	・レポート分析

### 3. 評価の観点

関心・意欲・態度	自らの健康・安全を確保し、学習に自主的に取り組もうとしている。
思考・判断	自己の課題に応じ、運動の行い方の改善すべきポイント見つけて適切な練習方法を選ぼうとしている。
運動の技能	中学時代に身につけた技能や動きをより高め、運動の特性に応じた、種目特有の技能を身につけることができる。
知識・理解	技術の名称や行い方、体力の高め方について言ったり書いたりしている。

### 4. 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断、運動の技能及び知識理解の4観点から総合的に評価する。
---

### 5. 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

①安全面には特に配慮し、事故が起こらないように注意してください。 ②服装や貴重品の管理等の日常的な注意事項を遵守してください。 ③時間を守り集合・整列してください。 ④「生涯スポーツ」の意味を考え、「体育」とは異なる視点で授業に参画しましょう。
---

## 令和4年度 芸術科 音楽研究（第3学年）シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年次1～7組
教科書	Joy of music（教育芸術社）	副教材等	楽典（音楽之友社） コールユーブンゲン（全音楽譜出版社）

### 1 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。音楽への感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。音楽の諸活動を通して、音楽文化についての理解を深める。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1 学 期	① ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コールユーブンゲン</li> <li>・新曲視唱</li> <li>・聴音（旋律・2声）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲の構成などを理解し、その曲の雰囲気を感じ取って歌唱する。</li> <li>・ 楽譜を読み取り正確に理解する技能を習得する。</li> <li>・ 音を聴いて、楽譜を書くことができる。また、そのための技能を身に付ける。</li> <li>・ 音楽理論について意欲的に学び、理解を深める。</li> <li>・ 様々な時代の音楽や音楽形態を意欲的に鑑賞する。</li> <li>・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽に対する理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動観察</li> <li>・ プリント</li> <li>・ 実技試験</li> </ul>
	② 楽典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音の長さ ・ 音の高さ</li> <li>・ 記号</li> <li>・ 音程</li> </ul>		
	③ 鑑賞・音楽史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バロックの音楽の響き</li> </ul>		
2 学 期	① ソルフェージュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コールユーブンゲン</li> <li>・新曲視唱</li> <li>・聴音（旋律・和声）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲の構成などを理解し、その曲の雰囲気を感じ取る。</li> <li>・ 楽譜を読んでそれを音にイメージし、実際に歌唱する。</li> <li>・ 音を聴いて、楽譜を書くことができる。また、そのための技能を身に付ける。</li> <li>・ 音楽理論について意欲的に学び、理解を深める。</li> <li>・ 様々な時代の音楽や音楽形態を意欲的に鑑賞する。</li> <li>・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽に対する理解を深める</li> <li>・ 様々な楽器と楽譜の関係を理解し、記譜の理解を深め、表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動観察</li> <li>・ プリント</li> <li>・ 実技試験</li> </ul>
	② 楽典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音階</li> <li>・ 和音</li> <li>・ 移調</li> </ul>		
	③ 鑑賞・音楽史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古典派の音楽の響き</li> <li>・ ロマン派の音楽響き</li> </ul>		
3 学 期	① 研究成果発表	<p><b>【個人課題提出】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好きな楽曲の編曲作品の提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲の構成などを理解し曲の雰囲気を感じる。</li> <li>・ 1年間で学んだ成果の発表の場として、計画を立てて取り組む。</li> <li>・ 自ら進んで学習し、移調楽器等の理解を深め、楽曲の雰囲気を感じ取って、編曲を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 学習プリント</li> <li>・ ノート</li> <li>・ 実技試験</li> </ul>

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	音楽を愛好し、音楽文化に関心を持ち、個性豊かに意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。
芸術的な感受や表現の工夫	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに創造的な音楽活動の工夫をする。
創造的な表現の技能	自己のイメージをもち、個性豊かに創造的な表現をするための技能を身に付けている。
鑑賞の能力	音楽文化に対する理解を深め、そのよさや美しさを主体的に味わう。

### 4 評価の方法

【 関心・意欲・態度 】【 芸術的な感受や表現の工夫 】【 創造的な表現の技能 】【 鑑賞の能力】の4観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・ 授業の諸活動に意欲を持って取り組み、より豊かな表現を心がけて取り組んでください。
- ・ 好みや苦手意識に捉われることなく、音楽の諸活動に取り組んでください。
- ・ 繰り返しの活動が音楽の力を高めます。より良い表現を目指して取り組んでください。

## 令和3年度 芸術科 音楽実技α シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年次1～7組
教科書	高校生の音楽1 (教育芸術社)	副教材等	両手になったらコードネームでひいちゃおう (YAMAHA 音楽出版)

### 1 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。音楽への感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。音楽の諸活動を通して、音楽文化についての理解を深める。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1 学 期	① キーボードの基本 ② 音楽の基本 ③ 音符への理解を深める ④ コードについて ⑤ アンサンブルの喜び	<b>【キーボード】</b> ・ 音階の運指 ・ 両手の演奏 「きらきら星」  <b>【音楽の三要素】</b> ・ リズム・和音・音階について  <b>【コード】</b> ・ 和音の機能 ・ 主要三和音 ・ コード進行  <b>【アンサンブル】</b> ・ ボディーパーカッション	・ 基礎的な奏法を身に付け、演奏にいかしていく。 ・ 音楽理論への関心を高め、意欲的に音楽表現に活かしていく。 ・ 読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。 ・ 音階や和音、リズムについての理解を深める。 ・ 楽曲の特徴を感じ取り、表現を工夫する。 ・ 曲想に応じて表現する技能を身に付けている。 ・ 楽曲の構成とアンサンブルとの関係に気づいて鑑賞する。 ・ 楽曲や楽器の特徴を感じ取り、表現の豊かさを感じ取る。 ・ さまざまな楽器に取り組み、基本的な奏法を身につける。 ・ 仲間と協調し合って音楽を作り上げる。	・ 行動観察 ・ 学習プリント ・ ノート ・ 実技試験
2 学 期	① 伴奏付け ② 伴奏の工夫 ③ 弾き歌い ④ 合奏	<b>【コードによる伴奏】</b> 「主人は冷たい土の中に」 「故郷の人々」 「赤い川の谷間」 「ドレミの歌」 <b>【アルペジオの伴奏】</b> 「きらきら星」  <b>【リトミック】</b> 楽しく音楽と触れあいながら、潜在的な基礎能力を引き出す方法を習得します  <b>【弾き歌い】</b> 「ジングルベル」 「大きな古時計」  <b>【アンサンブル】</b> 「ハンドベル・メドレー」	・ 基礎的な奏法を身に付け、演奏にいかしていく。 ・ 音楽の理論をいかして、より良い演奏を行う。 ・ 音楽理論への関心を高め、意欲的に音楽表現に活かしていく。 ・ 読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。 ・ 音階や和音、リズムについての理解を深める。 ・ 楽曲の特徴を感じ取り、表現を工夫する。 ・ 曲想に応じて表現する技能を身に付けている。 ・ 発声などを含め、個性豊かに表現する。 ・ 楽曲の構成とアンサンブルとの関係に気づいて鑑賞する。 ・ 楽曲や楽器の特徴を感じ取り、表現の豊かさを感じ取る。 ・ さまざまな楽器に取り組み、基本的な奏法を身につける。 ・ 仲間と協調し合って音楽を作り上げる。	・ 行動観察 ・ 学習プリント ・ ノート ・ 実技試験
3 学 期	① 個人課題発表 ② 鑑賞	<b>【個人課題発表】</b>	・ 個人課題発表に向けての取り組み。 ・ 演奏する楽曲への理解を深め、表現の工夫を行う。 ・ 仲間の演奏を聴き、今後の演奏に生かしていこう。	・ 行動観察 ・ 学習プリント ・ ノート ・ 実技試験



### 3 評価の観点

音楽への 関心・意欲・態度	音楽を愛好し、音楽文化に関心を持ち、個性豊かに意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。
音楽表現の創意 工夫	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに創造的な音楽活動の工夫をする。
音楽表現の技能	自己のイメージをもち、個性豊かに創造的な表現をするための技能を身に付けている。
鑑賞の能力	音楽文化に対する理解を深め、そのよさや美しさを主体的に味わう。

### 4 評価の方法

【 関心・意欲・態度 】【 音楽表現の創意工夫 】【 音楽表現の技能 】【 鑑賞の能力 】の4観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- ・ 授業の諸活動に意欲を持って取り組み、より豊かな表現を心がけて取り組んでください。
- ・ 好みや苦手意識に捉われることなく、音楽の諸活動に取り組んでください。
- ・ 繰り返し活動が音楽の力を高めます。より良い表現を目指して取り組んでください。
- ・ 実技テストではお互いの演奏を鑑賞し、自らの表現につなげてください。

## 令和3年度 芸術科 音楽実技β シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 3年次 1～7組 国際人文科 3年次 8組
教科書	Joy of music (教育芸術社)	副教材等	

### 1 学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。音楽への感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。音楽の諸活動を通して、音楽文化についての理解を深める。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
1 学 期	① 専攻実技	<b>【歌唱】</b> ・イタリア歌曲集 <b>【器楽】</b> ・エチュード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌詞の内容に関心を持ち、歌唱曲のよさに触れる。</li> <li>・ 曲の構成などを理解し、楽曲の持つ雰囲気を感じて表現する。</li> <li>・ 発声などを含め、個性豊かに自分なりに表現する。</li> <li>・ 読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。</li> <li>・ さまざまな楽器に取り組み、基本的な奏法を身につける。</li> <li>・ 楽器の響きや楽曲の特徴を感じ取り、表現を工夫する。</li> <li>・ 楽器の基本的な奏法を理解して演奏する。</li> <li>・ 曲想に応じて表現する技能を身に付けている。</li> <li>・ 楽曲の構成とアンサンブルとの関係に気づいて鑑賞する。</li> <li>・ 音階やリズムについての理解を深める。</li> <li>・ 楽曲や楽器の特徴を感じ取り、表現の豊かさを感じ取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 実技試験</li> </ul>
2 学 期	① 専攻実技	<b>【歌唱】</b> ・イタリア歌曲集 ・日本歌曲集 <b>【器楽】</b> ・自由曲 ・エチュード ・ソナタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌詞の内容に関心を持ち、歌唱曲のよさに触れる。</li> <li>・ 曲の構成などを理解し、楽曲の持つ雰囲気を感じて表現する。</li> <li>・ 声や楽器の響きを感じ取り、表現を行う。</li> <li>・ 発声などを含め、個性豊かに自分なりに表現する。</li> <li>・ 読譜力を高め、さまざま音楽表現を行う。</li> <li>・ さまざまな楽器に取り組み、基本的な奏法を身につける。</li> <li>・ 仲間と協調し合って音楽を作り上げる。</li> <li>・ 楽器の響きや楽曲の特徴を感じ取り、表現を工夫する。</li> <li>・ 楽器の基本的な奏法を理解して演奏する。</li> <li>・ 曲想に応じて表現する技能を身に付けている。</li> <li>・ 楽曲の構成とアンサンブルとの関係に気づいて鑑賞する。</li> <li>・ 音階やリズムについての理解を深める。</li> <li>・ 楽曲の持つ特徴やの良さ感じ取る。</li> <li>・ 曲の個性や雰囲気を作り上げている音楽の諸要素を理解して鑑賞を行う。</li> <li>・ 楽曲の構成など、音楽の諸要素が、どのような働きをしているか聴き取る。</li> <li>・ 作曲家やその作品の背景について興味や関心を高め、意欲的に調べ、発表する事ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 実技試験</li> </ul>

3 学 期	① 個人課題発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人課題発表に向けて取り組む</li> <li>・仲間の演奏を聴き、今後の演奏に生かしていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容に関心をもち、歌唱曲のよさに触れる。</li> <li>・曲の構成などを理解し、楽曲の持つ雰囲気を感じて表現する。</li> <li>・発声などを含め、個性豊かに自分なりに表現する。</li> <li>・読譜力を高め、さまざまな音楽表現を行う。</li> <li>・さまざまな楽器に取り組み、基本的な奏法を身につける。</li> <li>・互いに協調し合って音楽を作り上げようとしている。</li> <li>・楽器の響きや楽曲の特徴を感じ取り、表現を工夫する。</li> <li>・楽器の基本的な奏法を理解して演奏する。</li> <li>・曲想に応じて表現する技能を身に付けている。</li> <li>・楽曲の構成とアンサンブルとの関係に気づいて鑑賞する。</li> <li>・音階やリズムについての理解を深める。</li> <li>・作曲家の歴史やその作品についての興味や関心を高める。</li> <li>・表現の基礎的な技能を身に付け、豊かに表現している。</li> <li>・自ら進んで取り組み、模範の演奏等を参考にしながら良い演奏ができるように取り組もうとしている。</li> <li>・演奏の響きを感じ取って、それに合った表現を工夫している。</li> <li>・互いの演奏を聞き、今後の演奏に生かそうとして鑑賞している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動観察</li> <li>・ 学習プリント</li> <li>・ 実技試験</li> </ul>
-------------	----------	---	---	--

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	音楽を愛好し、音楽文化に関心をもち、個性豊かに意欲的、主体的に音楽活動を行い、その喜びを味わおうとする。
芸術的な感受や表現の工夫	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、個性豊かに創造的な音楽活動の工夫をする。
創造的な表現の技能	自己のイメージをもち、個性豊かに創造的な表現をするための技能を身に付けている。
鑑賞の能力	音楽文化に対する理解を深め、そのよさや美しさを主体的に味わう。

### 4 評価の方法

<p>【 関心・意欲・態度 】 【 芸術的な感受や表現の工夫 】 【 創造的な表現の技能 】 【 鑑賞の能力 】 の4観点から総合的に評価する。</p>
--

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の諸活動に意欲を持って取り組み、より豊かな表現を心がけて取り組んでください。</li> <li>・ 好みや苦手意識に捉われることなく、音楽の諸活動に取り組んでください。</li> <li>・ 繰り返しの活動が音楽の力を高めます。より良い表現を目指して粘り強く取り組んでください。</li> <li>・ 実技テストではお互いの演奏を鑑賞し、自らの表現のヒントにしてください。</li> </ul>
--

## 令和4年度 「コミュニケーション英語Ⅲ」 シラバス

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科 3年1～7組
教科書	LANDMARK FitⅢ(啓林館)	副教材等	Listening15 Read-Think-Express Level 1 Word Navi 3000

### 1 学習の到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばし、社会生活において活用できるようにする。

### 2. 学習の計画

月	CAN-DO	学習内容	学習内容の説明
4  5  6  7	聞く	ゆっくり、はっきりと話されたなら、自分の周りで話されている議論を80%程度は理解することができる。	○帯活動(ウォームアップ) ○読んだ文の概要把握
	読む	3年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。(WPM110)	○読んだ文の口頭サマリー ○読んだ文のサマリーライティング
	やりとり	ゆっくり、はっきりとした議論の中で、提案を言ったり、提案に反応したりすることができる。	○読んだ文の感想の発表 ○パフォーマンステスト
	発表	簡単なことであれば、キーワードを用いて、即興で自分の意見を述べたり、説明したりすることができる。	○リーディングテスト
	書く	身近な話題について、パラグラフの構成を意識し、自分の意見を書くことができる。	○リスニングテスト ○授業中のボキャブラリーテスト
9  10  11  12  1	聞く	スピーチやインタビューの意見などを聞いて、その人が最も伝えたいことなどを理解することができる。	○帯活動(ウォームアップ) ○読んだ文の概要把握
	読む	3年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。(WPM120)	○読んだ文の口頭サマリー ○読んだ文のサマリーライティング
	やりとり	聞いたり読んだりした社会的な話題について、簡単なディベート活動ができる。	○読んだ文を踏まえたディスカッション ○パフォーマンステスト
	発表	簡単なことであれば、即興で自分の意見を述べたり、説明をしたりすることができる。	○リーディングテスト ○リスニングテスト
	書く	序論・本論・結論のパラグラフ構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。	○授業中のボキャブラリーテスト ○授業中のリスニング問題

### 3 評価の観点及び方法

評価の場面	コミュニケーション への 関心・意欲・態度	外国語表現の能力 (話すこと・ 書くこと)	外国語理解の能力 (読むこと・ 聞くこと)	言語や文化に ついての 知識・理解	割合
定期考査			25 読むこと	25	50
パフォーマンステスト		30			30
リスニングテスト			10 聞くこと		10
ボキャブラリーテスト				5	5
授業内観察等	5				5
割合	5	30	35	30	100

### 4 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- 1 わからないことは辞書で調べることを習慣にしてください。授業には必ず辞書を持ってきましょう。
- 2 英文を読めるようになることは、和訳ができることではありません。大意、概要をつかむ練習をしましょう。
- 3 家庭で毎日音読を練習しましょう。
- 4 英語は技能教科です。英語の勉強でなく、英語の練習をしましょう。読む練習・聞く練習・話す練習・書く練習。
- 5 多くの英語に触れるために、多読をしていきましょう。
- 6 多読を進めるために、単語帳などを活用しながら語彙力をつけていきましょう。

## 令和4年度 「英語会話」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3 年
教科書	SELECT English Conversation (三省堂)	副教材等	なし

### 1 学習の到達目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、身近な話題について会話する能力を養う。

### 2. 学習の計画

月	CAN-DO	学習内容	学習内容の説明	
4 5 6 7	聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>○帯活動(ウォームアップ)</li> <li>○パフォーマンステスト</li> <li>○インタビューテスト</li> <li>○ライティングアサインメント</li> <li>○リスニングテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Lesson 1- 6 (予定)</li> <li>○さまざまな場面での定型句やテンプレートされた表現を、適切な場で使うことができる。</li> <li>○与えられた場面での会話のさらに先の論の展開に意見を言えたり、新たな提案をしたりできる。</li> <li>○グループワークで協働しながらサマリーを書く</li> <li>○グループワークで発表をする</li> <li>○インタビュー、発表等</li> <li>○エッセイライティング</li> <li>○授業中のリスニング問題</li> </ul>	
	読む			ゆっくり、はっきりと話されたなら、自分の周りで話されている議論を80%程度は理解することができる。 3年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。 (WPM115)
	やりとり			ゆっくり、はっきりとした議論の中で、提案を言ったり、提案に反応したりすることができる。
	発表			簡単なことであれば、キーワードを用いて、即興で自分の意見を述べたり、説明したりすることができる。
	書く	身近な話題について、パラグラフの構成を意識し、自分の意見を書くことができる。		
9 10 11 12 1 2 3	聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>○帯活動(ウォームアップ)</li> <li>○パフォーマンステスト</li> <li>○インタビューテスト</li> <li>○ライティングアサインメント</li> <li>○リスニングテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Lesson 7- 13 (予定)</li> <li>○さまざまな場面での定型句やテンプレートされた表現を、適切な場で使うことができる。</li> <li>○与えられた場面での会話のさらに先の論の展開に意見を言えたり、新たな提案をしたりできる。</li> <li>○グループワークで協働しながらサマリーを書く</li> <li>○グループワークで発表をする</li> <li>○インタビュー、発表等</li> <li>○エッセイライティング</li> <li>○授業中のリスニング問題</li> </ul>	
	読む			スピーチやインタビューの意見などを聞いて、その人が最も伝えたいことなどを理解することができる。 3年生用の教科書の内容や、関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。 (WPM120)
	やりとり			聞いたり読んだりした社会的な話題について、簡単なディベート活動ができる。
	発表			簡単なことであれば、即興で自分の意見を述べたり、説明をしたりすることができる。
	書く			序論・本論・結論のパラグラフ構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。

### 3 評価の観点及び方法

評価の場面	コミュニケーション への 関心・意欲・態度	外国語表現の能力 (話すこと・ 書くこと)	外国語理解の能力 (読むこと・ 聞くこと)	言語や文化に ついての 知識・理解	割合
定期考査	/	/	/	/	0
パフォーマンステスト		75			75
小テスト			10	5	15
授業内観察,提出物	10				10
割合	10	75	10	5	100

### 4 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- 1 予習は原則しません。初めて知る場面設定でさまざまな表現を言い表す練習をたくさん行います。
- 2 ALT や日本人教員、クラスメートと話すときは英語で話します。英語を上達させる第一歩です。
- 3 英語を話す活動が多く、評価に関わるため、休まずに出席してください。
- 4 文法はコミュニケーションを支えるために必要です。どういう場面で用いるのかを意識して練習しましょう。
- 5 英語は技能教科です。英語の勉強でなく、英語の練習をしましょう。読む練習・聞く練習・話す練習・書く練習。
- 6 教科書や参考書だけでなく、映画や音楽など様々な形で英語に触れて吸収しましょう。

## 令和4年度 「論理表現β」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年
教科書	Vision Quest English Expression II Hope	副教材等	プリントなど

### 1 学習の到達目標

日常的な話題、社会的な話題について必要な情報や考えなどを英語で話したり言ったりし、それらを相互的に伝え合うことができる。

### 2. 学習の計画

月	CAN-DO	学習内容	学習内容の説明	
4	話す ----- やりとり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ エッセイライティング</li> <li>○ 語彙テスト</li> <li>○ 読解問題</li> <li>○ 文法テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己表現とそれに必要な語彙や表現を覚える。</li> <li>○ 英文を読んだり書いたりするうえで必要な文法をアウトプットを通じて学習する。</li> <li>○ 情報を読み取り、それらを踏まえて自分の意見を相手に伝える。</li> </ul>	
5				簡単なことであれば、キーワードを用いて、即興で自分の意見を述べたり、説明したりすることができる。
6				ゆっくり、はっきりとした議論の中で、提案を言ったり、提案に反応したりすることができる。
7	書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ パフォーマンステスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 色々な表現方法、自分の主張の言い方をコミュニケーションを通じて学習する。</li> </ul>	
9	話す ----- やりとり ----- 書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ エッセイライティング</li> <li>○ 語彙テスト</li> <li>○ 読解問題</li> <li>○ 文法テスト</li> <li>○ パフォーマンステスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己表現とそれに必要な語彙や表現を覚える。</li> <li>○ 英文を読んだり書いたりするうえで必要な文法をアウトプットを通じて学習する。</li> <li>○ 情報を読み取り、それらを踏まえて自分の意見を相手に伝える。</li> <li>○ 色々な表現方法、自分の主張の言い方をコミュニケーションを通じて学習する。</li> </ul>	
10				簡単なことであれば、即興で自分の意見を述べたり、説明したりすることができる。
11				聞いたり読んだりした社会的な話題について、簡単なディベート活動ができる。
12	序論・本論・結論のパラグラフ構成を理解し、論理的に自分の意見を書くことができる。			
1				
2				
3				



### 3 評価の観点及び方法

評価の場面	コミュニケーション への 関心・意欲・態度	外国語表現の能力 (話すこと・ 書くこと)	外国語理解の能力 (読むこと・ 聞くこと)	言語や文化に ついての 知識・理解	割合
パフォーマンステスト		20 話すこと			20
小テスト				10	10
授業内テスト				50	50
エッセイライティング		10 書くこと			10
授業内観察	10				10
割合	10	30		60	100

### 4 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- 1 授業内で出される課題は必ず自力で行ってください。
- 2 文法や語彙も取り扱うのでしっかりと勉強してください。
- 3 定期考査はありませんが、授業内テストは行います。また、小テストやパフォーマンステストがとても重要になってくるので真剣に取り組むこと。
- 4 自分の意見をしっかりと持つこと。中立だとしても中立なりの意見を伝えられるようにしてください。

## 令和4年度 家庭科「家庭研究」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科・国際人文科 3年 1.2.3.4.5.6.7.8組
教科書	家庭研究とともに生きる・持続可能な未来を作る (第一学習社)	副教材等	なし

### 1 学習の到達目標

<p>人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、住まいに関する知識と技術を総合的に習得させる。家庭や地域の生活課題を主体的に解決する判断力を養い、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。未来へ向かってよりよく生きるための生活の知恵や工夫を体験的な学習活動を交えて学ぶ。</p>
--

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目 *実習	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	<u>6章 装う</u> 1節 人の一生と衣服	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な被服</li> <li>被服の成り立ちと着方</li> </ul>	被服の形、色、柄、伝統的な文様について理解し、自分らしく装うことについて学習します。	行動観察 授業プリント
5	2節 被服材料と管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>被服構成実習</li> <li>*刺し子のトートバッグ</li> <li>布の裁断</li> <li>ミシンの直線縫い</li> <li>三つ折り端ミシン</li> <li>アイロンがけ</li> </ul>	トートバッグ製作を通して、布の裁断、ミシンの扱い方、道具の扱い方、まち針の止め方、直線縫い、三つ折り端ミシン、マチの作り方、アイロンのかけ方などを学習します。	行動観察 授業プリント <b>作品提出</b>
6	<u>7章 住まう</u> 1節 人の一生と住まい 2節 住生活の計画と住まい	<ul style="list-style-type: none"> <li>人と住まい</li> <li>ライフステージと住まい</li> <li>日本の住宅事情</li> <li>*理想の住まい作成</li> </ul>	気候風土や生活機能に応じた住空間の構成や住居の変遷について理解します。ライフスタイルと住まいのかかわりについて考え、自身の理想の住まいを平面表示記号を使って作図します。	行動観察 授業プリント 実習ポート <b>提出物</b>
7		<b>期末考査</b>		
9	<u>5章 食べる</u> 1節 人の人生と食事 2節 栄養と食品	<ul style="list-style-type: none"> <li>食べることと健康</li> <li>*調理実験 (廃棄率)</li> <li>環境に配慮した食生活</li> <li>*調理実習①</li> <li>*調理実習②</li> <li>*調理実習③</li> </ul>	自分の食生活の実態、生涯の健康と食事の関係を考えます。 調理に関しての基礎的な知識と技術を身に付け、環境に配慮した食生活について考えます。	行動観察 授業プリント 実習ポート
10	3節 食生活の安全のために 4節 食生活をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工食品・健康増進のための食品</li> </ul>	和食、中華、洋食の調理実習を行い、家族の食事を作ることができるようにします。 加工食品を上手に利用するポイントを考えます。	
11	4章 とともに生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会保障制度と福祉</li> <li>福祉のまちづくりレポート</li> </ul>	私たちの一生はどのような制度で守られているか理解します。	行動観察 授業プリント <b>提出物</b>
12	<u>3章 充実した生涯へ</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*高齢者疑似体験</li> </ul>	高齢社会の現状と課題を正しく理解し、高齢者の心身の特徴や介護の必要性について学びます。	
		<b>期末考査</b>		

	9章 生活をデザインしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの生活を考える</li> <li>*ライフプランシート作成</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">学年末考査</div>	ライフイベントに必要なお金について知り、生活設計について考え、リスクに対して準備をしていく必要性について学びます。	行動観察 授業プリント  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">提出物</div>
--	---------------	--	---	--

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	様々な人々と協同し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を身につけることができたか。
思考・判断・表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身につけることができたか。
技 能	生活を営むために必要な、家族・家庭、衣食住、消費や環境などに関わる技能を実践的・体験的な学習活動を通して身につけることができたか。
知 識 ・ 理 解	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を身につけることができたか。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。  
 定期考査、授業中に使ったプリント、実習作品、提出物の内容、及び学習活動への参加の仕方や態度をもとに、総合的に評価します。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

休まずに授業に参加することはもちろん、提出物は期限内に完成させて提出すること。  
 実習中は怪我をしないよう注意を払い、真剣且つ慎重に取り組むこと。  
 家庭科では、生活者として自分はどう行動すべきかといった意思決定について授業を通して学んでいきます。  
 授業中は集中して取り組むこと。作品や提出物が授業内に終わらなければ、昼休みや放課後に取り組んでもらいます。  
 考査は1学期末、2学期末、学年末の3回です。

## 令和4年度 情報「情報の科学」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年選択者
教科書	最新情報の科学 新訂版	副教材等	

### 1 学習の到達目標

情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

### 2 学習の計画

月	単元名	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	オリエンテーション パソコン基礎技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの起動や終了方法，OSの基本操作の練習を行う。</li> <li>・文書作成ソフトに関する基礎的な技能を習得する。</li> <li>・適切なタイピングの仕方を覚え、技術向上する。</li> </ul>	発表 授業での行動観察 プリント
5	序章 1 情報と情報社会の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ・メディア・情報の関係，情報の特徴（残存性，複製性，伝播性）について学ぶ。</li> <li>・情報化による利便性（情報化の「光」）と危険性（情報化の「影」）について学ぶ。</li> </ul>	
6	2章 1節 ネットワークの仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークとその構成について学ぶ。</li> <li>・通信方式，接続形態，役割による分類について学ぶ。</li> <li>・IPアドレスやドメイン名の仕組みについて説明できるか。</li> </ul>	
6	2章 2節 情報システムと情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報システムの定義を理解し，身近な情報システムについて学ぶ。</li> <li>・利用者，管理者によるセキュリティ対策について学ぶ。</li> </ul>	
7	パソコン発展技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書作成ソフトに関する発展的な技能を習得する。</li> </ul>	
7	1章 1節 情報の表し方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アナログとデジタルの違い，図形をデジタルに変換する方法について学ぶ。</li> <li>・「黒」「白」のコイン投げの例から，情報量について学ぶ。</li> </ul>	
7	授業内考査		
9	パソコン基礎技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算処理ソフトに関する基礎的な技能を習得する。</li> <li>・2進数と10進数の関係を学び，相互に変換できるようにする。</li> <li>・論理積・論理和・否定，真理値表について学ぶ。</li> <li>・問題解決の定義について学ぶ。</li> <li>・ブレインストーミングとKJ法について学ぶ</li> </ul>	発表 授業での行動観察 プリント など
9	1章 1節 情報の表し方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・順次・選択・繰り返しなどのアルゴリズムの基本構造について学び，文章やフローチャートで表現できるようにする。</li> </ul>	
9	3章 1節 問題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション支援ソフトに関する基礎的な技能を習得する。</li> </ul>	
9	3章 2節 アルゴリズム		
9	パソコン基礎技能		

	授業内考査	・身の回りのことに対するプレゼンテーションを行う。	
1	動画編集	・動画編集ソフトの基本的な使用方法について理解している。	発表 作品 授業での行動観察 プリント
2	広告作成	・見え方、伝え方を意識した広告を作成する。	
3	発表		

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	情報や情報社会に関心を持ち，身のまわりの問題を解決するために，自ら進んで情報及び情報技術を活用し，社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。
数学的な見方や考え方	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために，情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて，思考を深め，適切に判断し表現している。
数学的な技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け，目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。
知識・理解	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け，社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。

### 4 評価の方法

タイピング速度 1 割，授業内課題等提出物 2 割，授業内考査 4 割，実技試験 3 割と段階的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ

(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

PCの基礎的・基本的な技能を身につけるための演習は最初のうちでどんどん発展的な内容に取り組んでいきます。日ごろからPCに触れておいて肌感覚で覚えていきましょう！

令和4年度 言語活用「言語活用β」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年選択者
使用教科書	高等学校標準国語総合（第一学習社） 現代社会（東京書籍）	副教材等	教科担当者作成プリント

1 学習の到達目標

言語活動を通じて、自ら課題を発見し解決する力、コミュニケーション能力、物事を多様な観点から考察する力、様々な情報を取捨選択できる力をさらに伸ばし、社会生活において円滑に活用できるようにする。

2 学習の計画

月	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4 5	<p>社会人としての在り方、人間としての生き方について関心を持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「表現」を通して自己を見つめよう。</li> </ul>	<p>以下の学習活動を通して、正確に読み、論理的に考え、的確に表現する練習を繰り返し、思考を整理する型を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を述べる</li> <li>・意見を述べる</li> <li>・「問題点」を見つける</li> <li>・「反論」してみる</li> <li>・論証文を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察（ルーブリック評価）</li> <li>・記述、課題レポートの確認</li> </ul>
6 7 9	<p>社会的事象に対して自己の考えを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の出来事を様々な視点で見つめながら考え、意見交換しよう。</li> </ul>	<p>「表現の型」を身につける練習を繰り返して身につける。さらに以下の学習活動を通して、情報に基づいて小論文を書く練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい表現、適切な表現の練習</li> <li>・小論文の型を理解し、書いてみる。</li> <li>・評論文を読み、要約する</li> <li>・資料を集め、分析する練習</li> <li>・賛成、反対の理由探し練習</li> <li>・説得力ある表現の仕方</li> <li>・個人の新たな研究課題の発見</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察（ルーブリック評価）</li> <li>・記述、課題レポートの確認</li> </ul>
10 11	<p>総合演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期までの学習内容を復習した上で、学習する意欲を向上させよう。</li> </ul>	<p>テーマを設定して論文を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の関心あるテーマの設定</li> <li>・論文の組み立て方</li> <li>・調査方針の立て方</li> <li>・情報の扱い方</li> <li>・小論文と論文の違い</li> <li>・論文の書き方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察（ルーブリック評価）</li> <li>・記述の確認</li> </ul>

1 2	総合演習 ・主体的に学習した成果を発表し、共有しよう。	作成した論文を発表し、自力による課題の発見・解決が可能になるよう学習する。 ・説得力ある発表の仕方 ・相互評価のあり方 ・個人の新たな研究課題の発見	・行動の観察（ルーブリック評価） ・発表、論文の確認
1			

### 3 評価の観点

関心・態度	現代社会の課題を身近なものと捉え、自ら問いをたてようとするとともに他者の意見を聞き入れ、正当に批評し、共同してその解決のためにできることを見出そうとしている。
論理的な思考力と表現力	問い、答え、論証と筋道をたてて考え、それをレポートや小論文、論文などの場面で適切に表現している。
多面的な思考力と表現力	自分の視点と他者の視点に違いがあることを踏まえ、他者のそれを正当に評価し、自分の考えをも発展させ、それを論文などの場面に応じて適切に表現している。
課題に対する理解と表現	現代社会の課題やそれに関連する情報を的確に把握し、レポートや小論文など、求められていることに応じた形で適切に表現している。
主体的学習力	調べ学習、論文作成などへの取り組みを充分に行っている。

### 4 評価の方法

「関心・態度」、「論理的な思考力と表現力」、「多面的な思考力と表現力」、「課題に対する理解と表現」、「主体的学習力」の5観点から総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<p>まずは与えられた課題を一つ一つ丁寧に仕上げることです。提出すべきものは期限・方法を守って提出しましょう。苦手なこともあるでしょうが、そうした取り組みから実力は養成されます。成績評価のためだけではなく、自らの人間力を高めるのだという向上心を持って授業に臨んでください。</p>
--

## 令和4年度 「日本語Ⅲ」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年2, 3組 選択
教科書	上級で学ぶ日本語 三訂版 (研究社)	副教材等	新完全マスター文法 日本語能力試験 N 1 (スリーエーネットワーク)

### 1 学習の到達目標

社会的な話題について、事実や自分の考えを理論的に説明できる。 異なる視点や考え方を持つ相手とも、積極的に情報や意見の交換ができる。
--

### 2. 学習の計画

月	CAN-DO	学習内容	学習内容の説明
4  5  6  7	聞く	身近で日常的な内容のテレビ番組を見て、だいたい理解できる。	○帯活動 ○読んだ文の概要把握 ○本文使用語彙の運用確認
	読む	身近で日常的な話題についての新聞や雑誌の記事を読んで、内容が理解できる	○読んだ文の口頭要約 ○読んだ文の筆記要約
	話す	クラスの討論で、相手の意見に賛成か反対かを理由とともに述べることができる。	○読んだ文の感想の発表 ○発表、スピーチ
	書く	学校や会社への志望理由を書くことができる。	○作文 ○聴解テスト ○読解テスト ○漢字テスト ○文法テスト
9  10  11  12  1  2  3	聞く	関心のあるテーマの議論でだいたいの内容を理解できる。	○帯活動 ○読んだ文の概要把握 ○本文使用語彙の運用確認
	読む	敬語が使われている手紙やメールの内容を理解できる。	○読んだ文の口頭要約
	話す	見た映画や読んだ本のだいたいのストーリーを紹介することができる。	○読んだ文の筆記要約 ○読んだ文の感想の発表 ○発表、スピーチ
	書く	基本的な敬語を使って手紙やメールを書くことができる。	○作文 ○聴解テスト ○読解テスト ○漢字テスト ○文法テスト
			○漢字、文法、ゲームなど ○文を読んで初見で大まかに内容をとらえる ○キーワードを見ながら要約を口頭で伝える ○要約文を書く ○感想を口頭で伝えあう ○インタビュー、発表等 ○授業中の作文 ○考査2回 ○初見の文による考査2回 ○毎週 ○毎週
			○漢字、文法、ゲームなど ○文を読んで初見で大まかに内容をとらえる ○キーワードを見ながら要約を口頭で伝える ○要約文を書く ○感想を口頭で伝えあう ○インタビュー、発表等 ○授業中の作文 ○考査3回 ○初見の文による考査3回 ○毎週 ○毎週



### 3 評価の観点及び方法

評価の観点及び評価の方法	評価の場面	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	日本語表現の能力(話すこと・書くこと)	日本語理解の能力(読むこと・聞くこと)	言語や文化についての知識・理解	割合
	①定期考査(5回)		○10	○30	○20	60
	②発表		○10			10
	③作文		○10			10
	④漢字テスト				○5	5
	⑤文法テスト				○5	5
	⑥授業内観察	○5				5
	⑦提出物	○5				5
割合	10	30	30	30	100	

### 4 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など)

言葉が難しくなります。毎日復習を行い、提出物は期限厳守で提出してください。小テストのための勉強をしっかりとやって知識を積み重ねましょう。進路実現のためにも考えを日本語で表現できるように、積極的に勉強してください。

## 令和4年度 「時事英語」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 1～7組
教科書	LANDMARK FitⅢ(啓林館)	副教材等	Change the World Basic 入試基礎編(いっぴずな書店)

### 1 学習の到達目標

新聞、テレビ、情報通信ネットワークなどにおいて用いられる英語を理解するとともに、必要な情報を選び活用する基礎的な能力を養う。

### 2. 学習の計画

月	CAN-DO	学習内容	学習内容の説明
4	聞く ゆっくり、はっきりと話されたならば、教科書の内容を 80%程度理解することができる。	○ 読んだ文の概要把握	○ テキストやニュースの英文に使われそうな語彙力の強化をする
5	読む 教科書の内容や関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。	○ 読んだ文を踏まえたディスカッション	○ 入試問題や時事問題に関する英文を読んで内容把握をする
6	やりとり ゆっくり、はっきりした議論の中で、提案を言ったり、提案に反応することができる。	○ ボキャブラリーテスト  ○ リスニングテスト	○ 読んだ文を踏まえたディスカッション (ペアワーク)  ○ ボキャブラリーテスト
7	書く 身近な話題について、パラグラフの構成を意識し、自分の意見を書くことができる。	○ ライティングテスト	○ リスニングテスト  ○ ライティングテスト
9	聞く ゆっくり、はっきりと話されたならば、教科書の内容をほぼ理解することができる。	○ 読んだ文の概要把握	○ テキストやニュースの英文に使われそうな語彙力の強化をする
10	読む 教科書の内容や関連する記述の概要を初見で理解し、特定の情報を取り出すことができる。	○ 読んだ文を踏まえたディスカッション	○ 入試問題や時事問題に関する英文を読んで内容把握をする
11	やりとり ゆっくり、はっきりした即興で、自分の意見を述べたり、説明をしたりすることができる。	○ ボキャブラリーテスト  ○ リスニングテスト	○ 読んだ文を踏まえたディスカッション (ペアワーク)  ○ ボキャブラリーテスト
12	書く 序論・本論・結論のパラグラフ構成を理解し論理的に、自分の意見を書くことができる。	○ ライティングテスト	○ リスニングテスト  ○ ライティングテスト
1			○ ライティングテスト
2			
3			

### 3 評価の観点及び方法

評価の場面	コミュニケーション への 関心・意欲・態度	外国語表現の能力 (話すこと・ 書くこと)	外国語理解の能力 (読むこと・ 聞くこと)	言語や文化に ついての 知識・理解	割合
定期考査			30 読むこと	30	60
小テスト				10	10
エッセイライティング		10 書くこと			10
リスニングテスト			10 聞くこと		10
授業内観察	10				10
割合	10	10	40	40	100

### 4 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

- 1 語彙力強化を意識して、日頃から多くの英文を読むことを心掛けて下さい。
- 2 英検の問題・英語でニュースを聞く等、リスニングの練習は、定期的に行って下さい。
- 3 予習・復習をしっかりと行い、授業に臨んでください。

## 令和4年度 家庭科「子どもの発達と保育」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 3年 1.2.3.4.5.6.7 組
教科書	子どもの発達と保育 (実教出版)	副教材等	

### 1 学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。
---

### 2 学習の計画

月	単元名	学習項目 *実習	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	1章 子どもの発達特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達</li> <li>・乳幼児期の特徴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の発達に関心を持ち、乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であり、大人による養護が欠かせないことを確認する。</li> </ul>	行動観察 授業プリント
	1節 発達と乳幼児期の意義			
5	2節 発達と保育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達と保育環境の関わり</li> <li>・保育環境を整える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの育ちは、遺伝要因と環境要因に影響されることを知る。子どもの発達に大きな影響を与える保育環境や子どもへの接し方を考える。</li> <li>・児童観と発達観の変遷を知り、子どもの人権が保障されるようになった経緯を知る。</li> </ul>	
	3節 児童観と発達観			
6	3章 子どもの生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活と健康</li> <li>・栄養と食事</li> <li>・食習慣の形成</li> <li>・衣生活と育児用品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の栄養や食事の特徴を知る。</li> <li>・乳汁栄養の種類や与え方、離乳食の意義と過程を理解する。</li> <li>*ミルク、離乳食、おやつ実習</li> <li>・子ども服や育児用品を観察し、安全性や機能性、実用性などを調べる。</li> <li>・子どもの遊びの意義について考える。</li> <li>・子どもの発達に合わせた玩具について知る。</li> </ul>	行動観察 授業プリント 実習レポート
	1節 生活と養護			
	2節 子どもの遊び			
	3節 生活習慣の形成			
7	4節 健康管理と事故防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣の意義</li> <li>・基本的な生活習慣</li> <li>・社会的な生活習慣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期に身につけるべき生活習慣と親の影響について考える。</li> </ul>	行動観察 授業プリント 実習レポート
	4節 健康管理と事故防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の健康管理</li> <li>・病気の看病と予防</li> <li>・事故の防止と応急処置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの健康状態を見るときのポイントや病気の特徴、予防接種について理解する。</li> <li>・子どもの事故の特徴を知り、対策を考える。</li> <li>*チャイルドビジョン、チャイルドマウス、誤飲事故</li> </ul>	
9	4章 子どもの保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育とは</li> <li>・人間形成と保育</li> <li>・家庭保育</li> <li>・集団保育</li> <li>・保育者の役割とは</li> <li>・指導のポイント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の意味や人間形成にどのように関わるかを考える。</li> <li>・親の子どものへの関わり方を考える。</li> <li>・集団保育の意義と形態、保育内容を知る。</li> <li>・子どもや家庭を取り巻く状況の変化を確認し、いま求められている保育について考える。</li> </ul>	行動観察 授業プリント
	1節 保育の意義と重要性			
	2節 家庭保育と集団保育			
10	3節 保育の方法			
	2章 子どもの発達過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・胎児の発育・発達</li> <li>・乳幼児の身体的特徴</li> <li>・乳幼児の生理的特徴</li> <li>・発育の評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・胎児の発育過程を知り、生命誕生に関わる母体環境の重要性を理解する。</li> <li>*妊婦疑似体験</li> <li>・乳幼児の身体の発育過程と生理的特徴を知る。</li> <li>*沐浴体験</li> </ul>	行動観察 授業プリント 実習レポート
1節 子どもの発達				
11	2節 子どもの精神発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動機能と感覚機能の発達</li> <li>・知的発達</li> <li>・言葉の発達</li> <li>・情緒の発達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動機能や感覚機能、知的能力、言語機能、情緒など様々な側面から、子どもの心の発達をとらえる。</li> </ul>	
12	3節 人間関係の発達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛着関係の形成</li> <li>・人間関係の広がり</li> <li>・子どもの人格形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*知育玩具製作</li> <li>*絵本読み聞かせ</li> <li>・心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係の広がりについて考える。</li> </ul>	期末考査

1	5章 子どもの福祉 1節 子どもの福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉の理念</li> <li>・児童福祉に関する法律</li> <li>・児童福祉のための機関・施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに関する法律や制度を知り、施策や施設の現状を把握する。</li> </ul>	行動観察 授業プリント
	2節 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的支援の必要性</li> <li>・児童虐待とその予防</li> <li>・これからの子育て支援</li> <li>・子育て支援の課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て家庭の現状を考える。</li> <li>・児童虐待の現状と対策について考える。</li> <li>・子どもが健全に育つために必要な支援について考える。</li> </ul>	学年末考査
2				
3				

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	子どもについての関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの発達や子育て支援に寄与していこうとする実践的な態度を身につけることができたか。
思考・判断・表現	子どもの発達をふまえ、現状について見直し、題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけることができたか。
技能	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けることができたか。
知識・理解	子どもの発達の特徴、生活と保育に関する知識を総合的に身に付けることができたか。

### 4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。  
定期考査、授業中に使ったプリント、実習作品、提出物の内容、及び学習活動への参加の仕方や態度等を、総合的に評価します。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

子どもの発達と保育の授業では、保育士や幼稚園教諭等の子どもと関連の強い職業や、将来親になることを見据え、子どもや子どもをとりまく環境について重点的に学び、考えを深めます。

そのために、以下の点を意識して取り組んでください。

- ・休まずに授業に参加することはもちろん、提出物は期限内に完成させて提出すること。
- ・実習中は怪我をしないよう注意を払い、真剣且つ慎重に取り組むこと。
- ・実習での体験や他者の考えに触れ、自分自身の考えや理解をさらに深めること。